

岐阜の畜産



2024



令和7年3月

岐 阜 県

表紙写真の説明

上段左:第62回岐阜県自給飼料共励会

〈令和6年4月19日(金)から令和7年2月28日(金) 県下全域〉

岐阜県自給飼料共励会は、県内における飼料自給率の向上と良質な粗飼料の増産を図るため、飼料作物の高位生産技術と効率的な利用技術の研鑽を目的に開催しています。現地審査と集合審査を経て、総合優等賞1席には関市の酪農家が選出されました。

上段右:第9回岐阜県ホルスタイン共進会

〈令和6年11月8日(金) 関市〉

岐阜県ホルスタイン共進会は、県内におけるホルスタイン種の改良増殖の成果と優良種雄牛の造成意欲の高揚を図り、酪農経営の健全な発展に資することを目的に開催しています。未經産牛グランドチャンピオンには岐阜県農業大学校が、経産牛グランドチャンピオンには中津川市の酪農家が選出されました。

下段左:義景竜

孝隆平を1代祖に持つ「安福系」種雄牛です。本牛は均称および資質に優れ、飛驒牛の特徴である腿の抜け、肉色、サシの形状、脂質の改良が期待されます。

下段右:第34回岐阜県はちみつ共進会

〈令和6年10月24日(木)から25日(金) 岐阜市〉

岐阜県の特徴ある蜂蜜を品評するため、第34回岐阜県はちみつ共進会が行われました。本共進会は毎年、非常に多くの蜂蜜が出品され採蜜技術や蜂蜜の品質向上研鑽の場となっています。今回の共進会では、農林水産大臣賞にそよごはちみつ、岐阜県知事賞にアカシアはちみつが選出されました。

目 次

I 畜産の概況

1	全国的にみた岐阜県の畜産の地位	1
2	農業産出額に占める畜産産出額割合	2
3	農業産出額と畜種別産出額内訳	3
4	岐阜県の畜産物ブランド	
	飛騨牛	4
	まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク	5
	奥美濃古地鶏	6
	美濃飛騨はちみつ	7
5	飼料	
	(1) 飼料作物栽培面積及び収量	8
	(2) 飼料用稲の生産状況	9
	(3) 配合飼料の流通量・価格の推移	9
6	岐阜県家畜育成牧場	
	(1) 牧場の概要	10
	(2) 家畜の譲渡頭数等の推移	10
7	畜産生産振興地域指定市町村分布	11
8	家畜衛生	
	(1) 家畜伝染病発生状況	12
	(2) 獣医事	
	ア 獣医師の就業状況	13
	イ 飼育動物診療施設の状況	13
	(3) 動物用医薬品販売業者等数	13
9	環境保全対策	
	(1) 畜産経営に起因する苦情発生件数の推移	14
	(2) 畜種別の糞尿処理状況	14
	ア 固形物	14
	イ 液状物	14
10	畜産コンサルタント事業	15
11	家畜の改良と増殖	
	(1) ブロック別家畜登録状況	15
	(2) 得点別登録状況	15
	(3) 人工授精頭数の推移	16
	(4) 受精卵移植成績の推移	16
12	競馬	17

II 畜種別の動向

1	乳用牛	
	(1) 乳用牛の飼養頭数の分布	18
	(2) 乳用牛の飼養戸数と頭数	19
	(3) 生乳の生産と処理量	19
	(4) 全国の飲用牛乳の生産	20
	(5) 飲用牛乳の生産	20
	(6) 生乳と飲用牛乳の流通	21
	(7) 生乳の学校給食用供給量の推移	22
	(8) 県内の学校給食用牛乳供給乳業工場	22

2	肉用牛	
	(1) 肉用牛の飼養頭数の分布	23
	(2) 肉用牛の飼養戸数と頭数	24
	(3) 肉用牛の種別飼養頭数	24
	(4) 肉用牛のと畜頭数と取引価格	25
	(5) 県内の子牛市場	26
	(6) 肉用子牛価格	26
3	豚	
	(1) 豚の飼養頭数の分布	27
	(2) 豚の飼養戸数と頭数	28
	(3) 豚のと畜頭数と取引価格	28
4	採卵鶏・ブロイラー	
	(1) 採卵鶏の飼養羽数の分布	29
	(2) 採卵鶏の飼養戸数と羽数	30
	(3) 鶏卵の生産量	30
	(4) 採卵用ひな出荷羽数	31
	(5) ブロイラーの飼養羽数の分布	32
	(6) ブロイラーの出荷羽数	33
5	養蜂	34
6	めん羊・馬	
	(1) めん羊の飼養戸数と頭数	35
	(2) 馬の飼養戸数と頭数	35
	公共牧場の概要	36
	県畜産関係機関一覧	37

統計表	別冊
-----	----

I 畜産の概況

1 全国的にみた岐阜県の畜産の地位(令和6年2月1日現在)

畜種	順位			
	飼養戸数	飼養頭羽数	1戸当たり飼養頭羽数	産出額(令和5年)
乳用牛	27位 (82戸)	28位 (5,060頭)	28位 (61.7頭)	29位 (42億円)
肉用牛	19位 (413戸)	21位 (34,000頭)	23位 (82.3頭)	19位 (123億円)
豚	28位 (26戸)	24位 (91,300頭)	12位 (3,511.5頭)	22位 (95億円)
採卵鶏	7位 (57戸)	10位 (5,831千羽)	11位 (108.1千羽)	19位 (188億円)
ブロイラー	27位 (11戸)	25位 (939千羽)	7位 (85.4千羽)	24位 (24億円)
蜜蜂 (1月1日現在)	- (410戸)	- (6,119群)		

*採卵鶏:成鶏めす1,000羽以上の飼養者(ひなのみ及び種鶏のみで、それぞれ1,000羽以上の飼養者含む)

*採卵鶏産出額は鶏卵のみ

*ブロイラー:年間出荷羽数3,000羽以上の飼養者

資料:農林水産省統計部「畜産統計調査」、「生産農業所得統計」
農林水産省畜産局「養蜂をめぐる情勢」、県畜産振興課

令和6年2月1日現在の乳用牛及び肉用牛の飼養戸数及び飼養頭数は、それぞれ82戸、5,060頭、413戸、34,000頭となっている。

採卵鶏の飼養戸数及び飼養頭羽数は、7位、10位であり、豚及びブロイラーの1戸当たり飼養頭羽数は、12位、7位であり上位に位置する。その他の項目は中位に位置している。

2 農業産出額に占める畜産産出額割合(令和5年)

畜産産出額の全国順位

都道府県	順位	畜産	構成比	産出額
		産出額		割合
		億円	%	%
北海道	1	7 837	20.8	58.1
青森	10	1 090	2.9	31.4
岩手	4	1 975	5.2	66.4
宮城	13	833	2.2	43.3
秋田	25	411	1.1	23.1
山形	24	441	1.2	18.1
福島	19	542	1.4	25.1
茨城	6	1 389	3.7	30.4
栃木	8	1 367	3.6	46.2
群馬	9	1 319	3.5	49.7
埼玉	33	280	0.7	17.1
千葉	5	1 501	4.0	37.3
東京	47	18	0.0	8.2
神奈川	37	169	0.4	24.6
新潟	20	504	1.3	22.1
富山	41	93	0.2	15.8
石川	38	117	0.3	22.5
福井	44	65	0.2	15.0
山梨	42	91	0.2	7.6
長野	34	280	0.7	9.7
岐阜	21	504	1.3	39.9
静岡	16	637	1.7	28.4
愛知	11	1 047	2.8	32.6
三重	18	584	1.5	47.9
滋賀	39	112	0.3	18.4
京都	36	175	0.5	22.8
大阪	46	18	0.0	5.6
兵庫	14	728	1.9	43.4
奈良	43	65	0.2	15.7
和歌山	45	41	0.1	3.6
鳥取	29	315	0.8	41.1
島根	32	293	0.8	43.3
岡山	12	857	2.3	48.4
広島	15	691	1.8	47.7
山口	35	237	0.6	34.4
徳島	31	296	0.8	30.0
香川	22	500	1.3	51.1
愛媛	30	301	0.8	23.2
高知	40	96	0.3	8.5
福岡	26	402	1.1	19.2
佐賀	28	378	1.0	29.4
長崎	17	627	1.7	39.4
熊本	7	1 371	3.6	36.5
大分	23	496	1.3	37.0
宮崎	3	2 483	6.6	66.7
鹿児島	2	3 754	10.0	69.0
沖縄	27	393	1.0	44.7

*産出額割合:

農業産出額に占める畜産産出額の割合

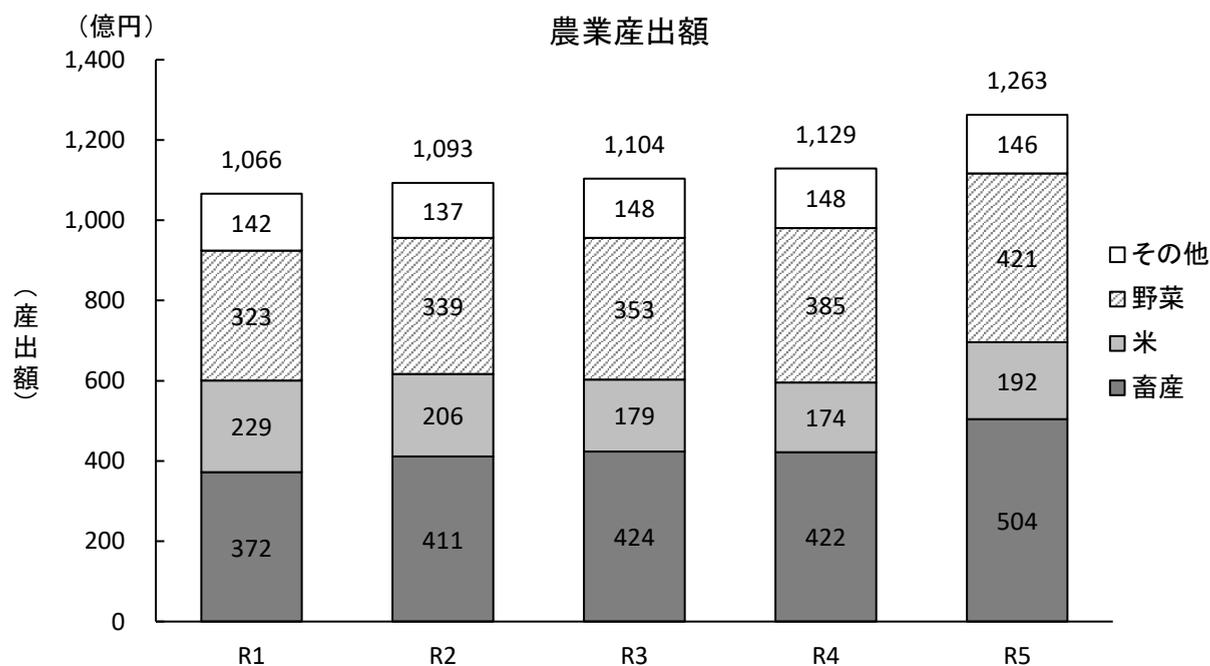
資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

岐阜県の畜産産出額割合は39.9%

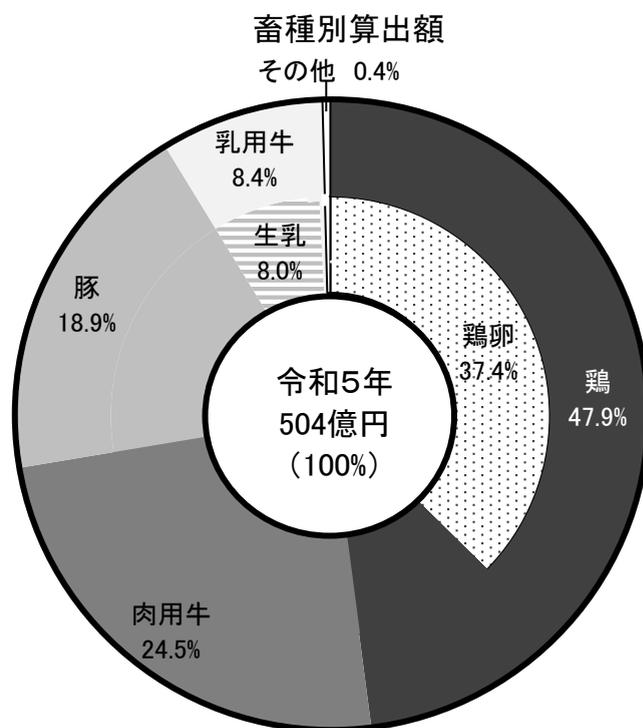
岐阜県の農業産出額に占める畜産産出額の割合は、前年よりわずかに増加し39.9%であった。

畜産産出額を都道府県別にみると、乳用牛を主体とする北海道が第1位で7,837億円(全国シェア20.8%)、次いで鹿児島県の3,754億円(同10.0%)、宮崎県の2,483億円(同6.6%)となっており、岐阜県は21位で504億円(同1.3%)となっている。

3 農業産出額の推移と畜種別産出額内訳



資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」



資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

農業産出額はわずかに増加

岐阜県における令和5年の農業産出額は、1,263億円となり、前年に比べて134億円(11.9%)増加した。部門別産出額では、米、野菜、果実、花き、工芸農作物等の耕種部門は757億円で、前年に比べ53億円(7.5%)増加し、畜産部門は504億円で前年に比べ82億円(19.4%)増加した。

畜種別にみると、肉用牛は123億円で、ほぼ前年並みとなった。乳用牛は42億円で、わずかに増加した。豚は95億円で、前年に比べ16億円(20.3%)増加した。鶏は241億円で、前年に比べ62億円(34.6%)減少した。

4 岐阜県の畜産物ブランド

飛驒牛

豊かな自然が育んだ味

「飛驒牛」とは、飼養期間が最も長い場所が岐阜県であり、飛驒牛銘柄推進協議会登録農家制度※にて認定・登録された生産者により14カ月以上肥育された黒毛和種の肉牛のうち、(公社)日本食肉格付協会が実施する牛枝肉格付により肉質等級5等級・4等級・3等級と格付けされたものであることを飛驒牛銘柄推進協議会事務局が確認し、認定したものです。

清らかな水と澄んだ空気、人々の愛情により育てられ、その肉質はきめ細かくやわらかで、とろけるような旨みは牛肉の芸術品と呼ぶにふさわしい逸品です。

※登録農家制度

岐阜県内にて黒毛和種を飼養する生産者を対象に、手続きを経て認定・登録する制度
(飛驒牛銘柄推進協議会ホームページにて公開)



【関連団体】

飛驒牛銘柄推進協議会 [昭和63年1月23日設立]
(事務局:全農岐阜県本部畜産課内)
<https://www.hidagyu-gifu.com>

【年間認定頭数の推移】

(単位:頭)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
認定頭数	9,784	9,727	9,883	10,152	9,990

【登録農家数】

231戸
(令和6年3月31日時点)

【指定店数】

販売店 164店
料理店 194店
海外推奨店 68店
(令和6年3月31日時点)



(提供:飛驒牛銘柄推進協議会)

まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク

県内の養豚農家がそれぞれのこだわりをもって生産した銘柄豚肉の数々

岐阜県内には、「飛騨けんとうん・美濃けんとうん」をはじめ、各々の養豚農家が飼料や飼育方法にこだわりを持って生産した数々の銘柄豚肉があります。

岐阜県養豚協会では、県内においしい銘柄豚肉がたくさんあることを知ってもらい、これらの県産銘柄豚肉を一体的にPRしていくため、『まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク』という統一名称、キャッチコピー、ロゴマークを決め、岐阜県産豚肉の一層の支持、販路の拡大を図ることとしています。



【関連団体】

岐阜県養豚協会[昭和51年9月8日設立]
(会員数22名 令和6年度)

【参加銘柄:順不同】(令和6年4月1日時点)

飛騨けんとうん・美濃けんとうん
寒天そだち三浦豚
あんしん豚

飛騨旨豚
納豆喰豚
ボーンポークぎふ

郡上クラシックポーク
美濃ヘルシーポーク

* 参加保留中：文殊にゅうとん、山金豚、はちや豚



奥美濃古地鶏

神代の味の再現

「奥美濃古地鶏」は、鶏の原種の特徴を最も色濃く残すといわれ天然記念物に指定されている「岐阜地鶏」を基に、岐阜県が開発した地鶏で肉用鶏と卵用鶏があります。

肉用鶏は、奥美濃古地鶏普及推進協議会が生産者を認定し、「地鶏肉の日本農林規格」に準じた生産を行っています。ゆったりと十分に運動できる環境において、75日間以上かけて飼育しているため、肉は赤みを帯び、歯ごたえよく、あふれる旨みが特徴です。

また、卵用鶏の卵は一般の鶏卵に比べて小ぶりですが、卵黄の比率が高く、濃厚でコクがあります。



※地鶏肉の日本農林規格

「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」に基づき、国が定めた「地鶏肉」の規格

【関連団体】

奥美濃古地鶏普及推進協議会[平成4年7月17日設立]

(事務局:岐阜アグリフーズ株式会社内)

<http://okuminokojidori.com/>

【肉用鶏の年間え付け羽数の推移】

年度	R1	R2	R3	R4	R5
え付け羽数	116.6千羽	106.8千羽	96.8千羽	92.2千羽	78.5千羽
飼養戸数	6戸	5戸	5戸	5戸	5戸



奥美濃古地鶏公式キャラクター
(提供:奥美濃古地鶏普及推進協議会)

【指定店数】

販売店 33店

料理店 25店

(令和6年3月31日時点)



肉用 奥美濃古地鶏

(提供:奥美濃古地鶏普及推進協議会)



卵用 奥美濃古地鶏

(提供:県畜産研究所)

美濃飛驒はちみつ

近代養蜂発祥の地

現在の西洋式の養蜂は明治の中期に日本に導入され、岐阜県の養蜂家が中心となり、養蜂器具の作成や技術の普及が行われました。明治43年には第1回全国養蜂家大会が岐阜県で開催されました。このため、岐阜県は「近代養蜂発祥の地」と言われています。

岐阜県では標高差のある自然条件を生かし、岐阜・西濃地域のれんげ蜜や中濃・東濃・飛驒地域のソヨゴ蜜、とち蜜、アカシア蜜など様々な種類のはちみつが生産されています。

近年の養蜂業は、はちみつ、蜜ろう、ローヤルゼリーの生産だけでなく、野菜や果樹の花粉交配にも蜜蜂が利用されていることから、農産物の生産に大きく寄与しています。

岐阜県養蜂組合連合会は平成18年度から岐阜県内養蜂業界の発展を図ることを目的として、岐阜県内で生産・販売する岐阜県産天然はちみつを対象に県内での統一した銘柄づくりに着手。その第一歩として、「美濃飛驒はちみつ」の統一シール（右上）の貼付を行い、農業フェスティバル等でPRを行っています。



【関連団体】

岐阜県養蜂組合連合会 [昭和27年4月1日設立]
(県内11地域組合 会員数84名 令和6年度)

【県内のはちみつ生産量の推移】

年次	R1	R2	R3	R4	R5
はちみつ生産量	103.6t	103.0t	90.7t	80.8t	63.0t

(岐阜県養蜂組合連合会調べ)



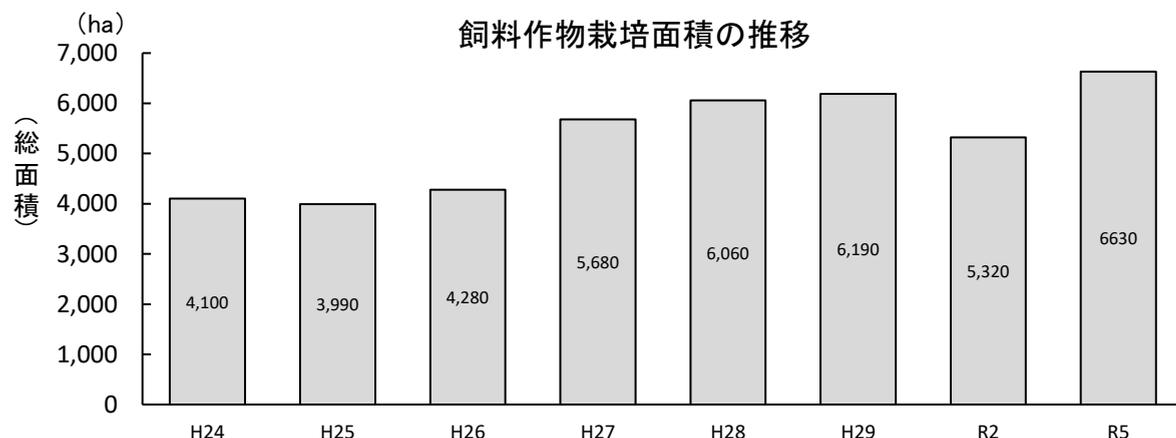
いちごの受粉を行う蜜蜂



県内産のいろいろなはちみつ

5 飼料

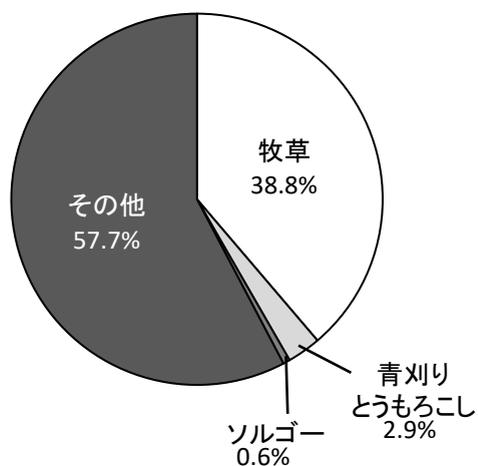
(1) 飼料作物栽培面積及び収量



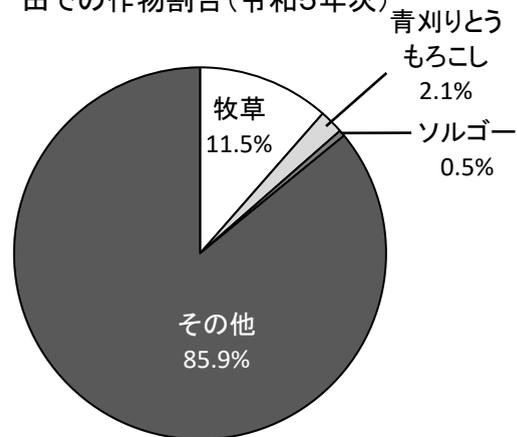
資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

※飼料作物の栽培面積はH30以降、3年ごとに全国調査を実施することとなり、H30～R1、R3～R4は主産県のみ
の調査であり、岐阜県の数値は公表されていない。

飼料作物栽培面積の割合(令和5年次)

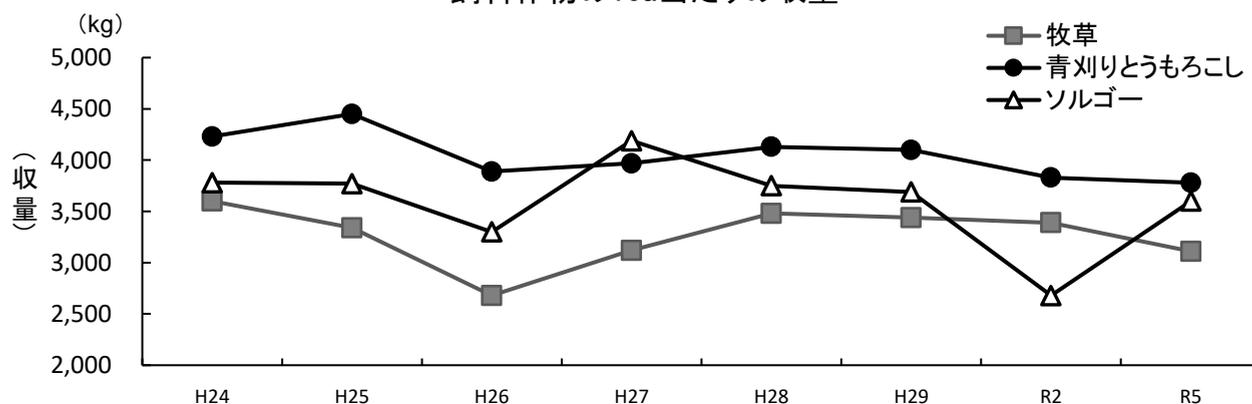


田での作物割合(令和5年次)



資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

飼料作物の10a当たりの収量

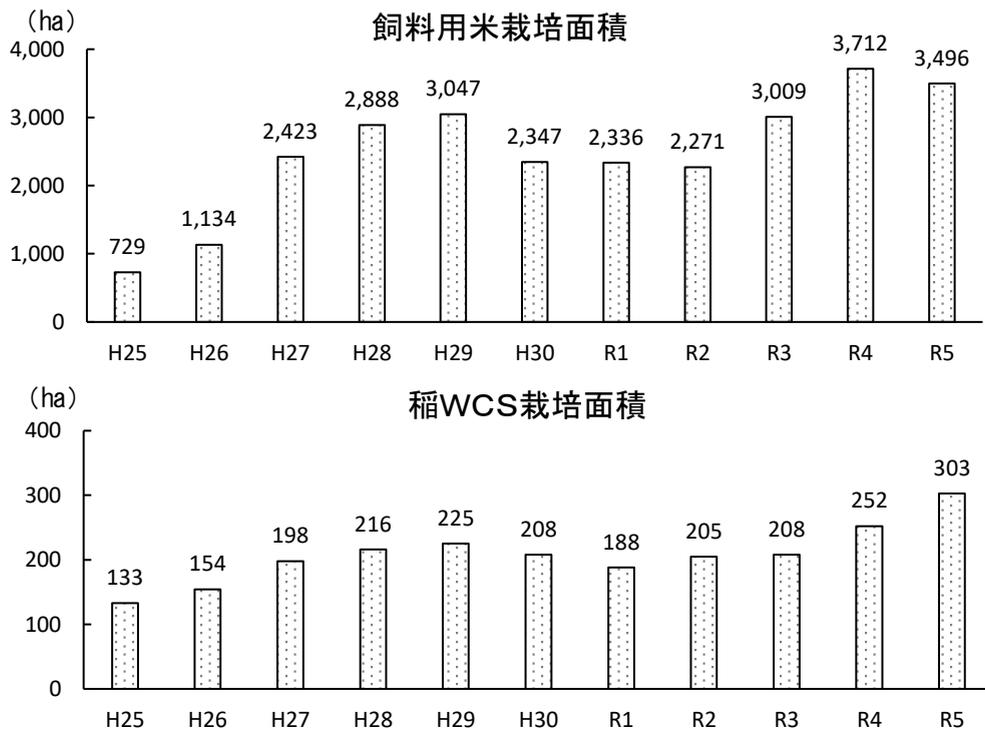


資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

飼料作物栽培面積は大幅に増加

令和5年次の飼料作物栽培面積は、前回調査時と比べ24.6%増加した。栽培面積の割合は牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴーの順に高いが、10a当たりの収量は青刈りとうもろこしが最も多い。

(2) 飼料用稲の生産状況

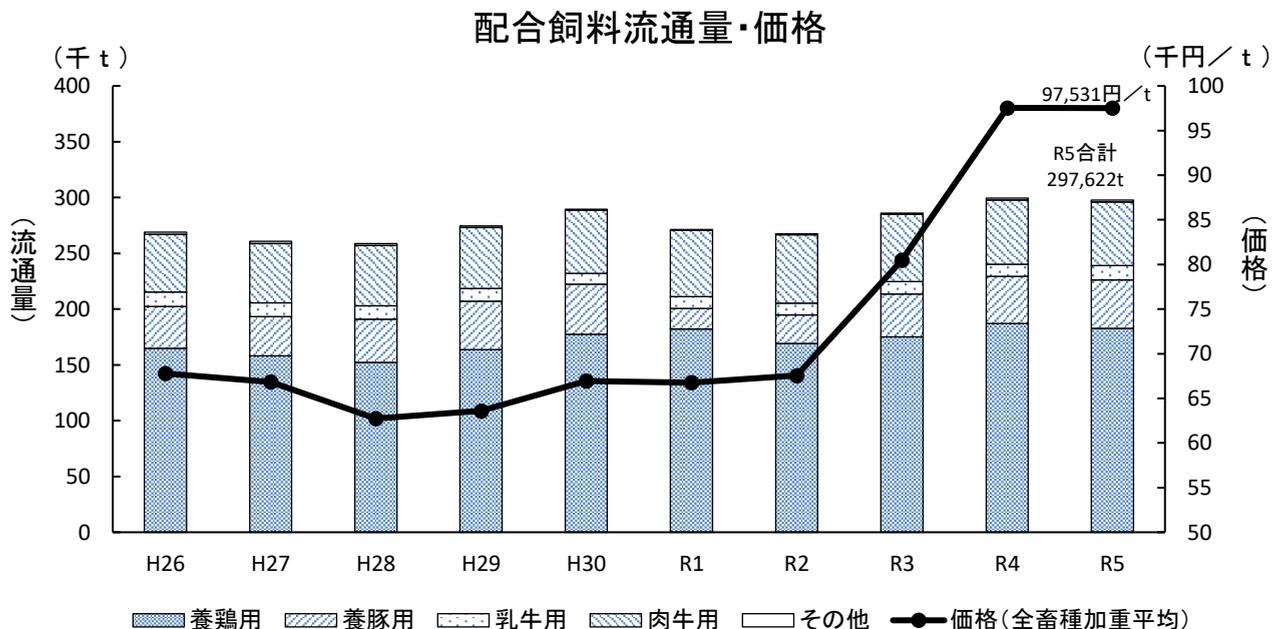


資料: H24~H28: 経営所得安定対策の支払実績
H29以降: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

飼料用米栽培面積はやや減少、稲WCS栽培面積は大幅に増加

令和5年次の飼料用米栽培面積は3,496haで、前年に比べ5.8%減少した。稲WCS栽培面積は303haで、前年に比べ20.2%増加した。

(3) 配合飼料の流通量・価格の推移



資料: 農林水産省畜産局飼料課「飼料月報」

配合飼料流通量、価格はともに程前年並み

令和5年度の配合飼料流通量は29万7,622tで、前年に比べ0.6%減少した。配合飼料価格は97,531円/tで、前年と同程度であった。

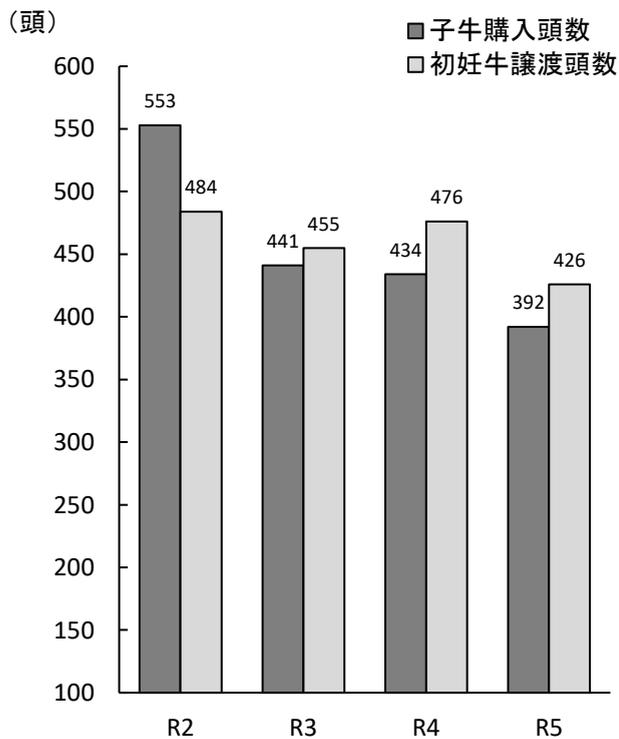
6 岐阜県家畜育成牧場

(1) 牧場の概要

	東濃牧場	飛騨牧場
事業の内容	優良乳用初妊牛の育成譲渡	和牛繁殖改良基礎雌牛の生産譲渡
牧場の範囲	恵那市 (旧恵那市) (旧恵那郡岩村町)	高山市 (旧大野郡清見村) (旧大野郡荘川村)
総面積	229.1ha	368.3ha
標高	630～700m	1,100～1,400m
採草放牧地面積 (草地面積)	162ha	281ha
うち採草地	53ha	44ha
うち放牧地	109ha	237ha

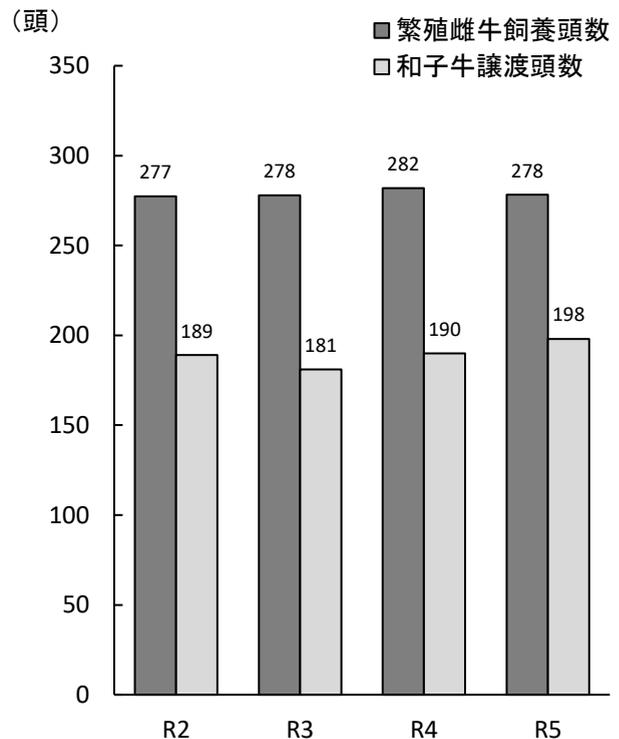
(2) 家畜の譲渡頭数等の推移

年度別子牛購入・初妊牛譲渡頭数
(東濃牧場)



資料: (一社)岐阜県農畜産公社

年度別肉用牛繁殖雌牛飼養・和子牛譲渡頭数
(飛騨牧場)



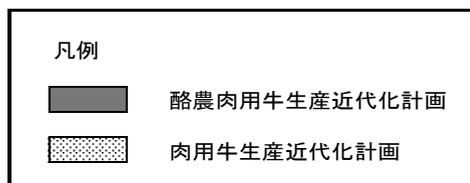
資料: (一社)岐阜県農畜産公社

岐阜県は、大家畜資源の確保及び畜産経営の合理化を図るため、東濃及び飛騨地区に国の共同利用模範牧場設置事業により家畜育成牧場を建設した。

昭和48年4月に社団法人岐阜県畜産開発公社が設立(平成11年4月1日に財団法人岐阜県農業公社と合併し、社団法人岐阜県農畜産公社となる。また、平成25年4月1日には、一般社団法人に移行。)され、牧草地を利用して優秀な子牛を育成し、農家へ供給する家畜育成事業を実施している。

年度別実績は、上図のとおり。

7 畜產生產振興地域指定市町村分布(令和7年3月1日現在)



資料: 県畜産振興課

8 家畜衛生

(1)家畜伝染病発生状況

対象家畜 病名 年次	牛(頭)			馬(頭)	豚(頭)		鶏(羽)			蜜蜂(群)
	ブルセラ症	結核	ヨーネ病	馬伝染性 貧血	豚熱	流行性 脳炎	高病原性鳥 インフルエンザ	ニュー カッスル病	家きん サルモネラ症	腐蛆病
昭和31～40	14	106		89	1,009				264,710	1,439
41～50	2	16		34				23,591	1,073	1,171
51～63	2	9		4	414				146	1,081
平成元～10	2	2								347
11～20			13			1				57
21			4							
22										9
23										1
24										
25			1							
26			1							3
27										6
28										3
29							7			2
30					7					1
令和元					36					
令和2										1
令和3			1				1			1
令和4										4
令和5										32

*平成30年の豚熱頭数は飼育下のししを加えると計8頭

資料:農林水産省消費・安全局「監視伝染病発生年報」

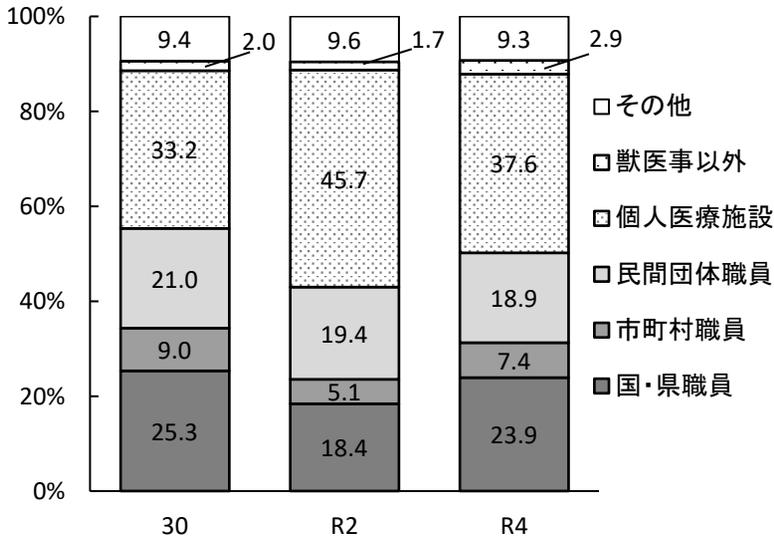
*豚熱頭数及び高病原性鳥インフルエンザ羽数は、特定家畜伝染病防疫指針に基づき患者と判定した個体(ウイルスが分離された個体等)を計上

令和5年次は、国内では牛ヨーネ病(20道県1,060頭)、豚熱(3県11頭)、高病原性鳥インフルエンザ(16道県94羽)などの発生があった。全国で令和4年冬から令和5年春にかけて発生した高病原性鳥インフルエンザは、過去最大規模(84事例約1,771万羽殺処分)となったことをふまえ、令和5年9月に飼養衛生管理指導等指針が一部改定され、施設及び飼養管理を完全に分けることにより農場を複数に分割し、別農場として取り扱う「農場の分割管理」などが盛り込まれた。

県内では、腐蛆病の発生があった。県内の養豚場における豚熱発生は小康状態を保っているが、野生いのししでは陽性個体が確認されている。引き続き検査・指導を強化し、家畜伝染病の発生防止を図る。

(2) 獣医事

ア 獣医師の就業状況



資料: 農林水産省消費・安全局「獣医師の届出状況(獣医師数)」

イ 飼育動物診療施設の状況
(令和6年3月末現在)

地域	診療施設数	
	計	うち産業動物
中央	139	26
中濃	44	15
東濃	51	21
飛騨	32	20
計	266	82

資料: 県家畜防疫対策課

県内の獣医師の届出数(令和4年12月)は総勢665名で、うち農林畜産関係に従事する獣医師は145名(21.8%)であった。前回届出数(令和2年12月)に比べ、10名減少した。

全国の獣医師の届出数(令和4年12月)は総勢40,455名で、うち農林畜産関係に従事する獣医師は7,807名(19.3%)であり、県内の農林畜産関係に従事する獣医師の比率は全国と比べるとわずかに高い。

(3) 動物用医薬品販売業者等数

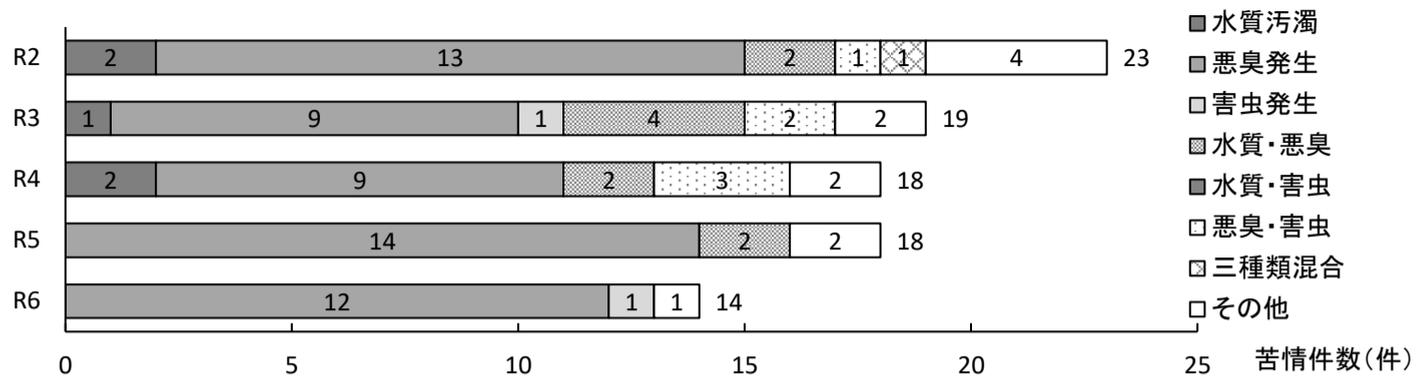
令和6年3月末現在

区分	家保	中央	中濃	東濃	飛騨	計
動物用医薬品店舗販売業		24	1	4	2	31
動物用医薬品卸売販売業		9	0	2	2	13
動物用医薬品特例店舗販売業		43	25	21	18	107
計		76	26	27	22	151
動物用高度管理医療機器等販売・貸与業		7	1	0	2	10
動物用管理医療機器販売・貸与業		33	1	4	3	41
動物用再生医療等製品販売業		2	0	0	0	2
計		42	2	4	5	53
動物用医薬品製造業		3	1	1	3	8
動物用医薬部外品製造業		0	1	0	0	1
動物用医療機器製造業		3	5	1	0	9
動物用医薬品製造販売業		0	0	1	0	1
動物用医薬部外品製造販売業		0	0	0	0	0
動物用医療機器製造販売業		2	4	1	0	7
計		8	11	4	3	26
動物用医療機器修理業		9	0	0	0	9
計		9	0	0	0	9
総計		135	39	35	30	239

資料: 県家畜防疫対策課

9 環境保全対策

(1) 畜産経営に起因する苦情発生件数の推移



苦情の畜種別発生件数(令和6年度※注1)

	水質汚濁	悪臭発生	害虫発生	水質・悪臭	水質・害虫	悪臭・害虫	三種類混合	その他	合計(割合)
牛	0	6	0	0	0	0	0	0	6(42.9%)
豚	0	3	0	0	0	0	0	1	4(28.6%)
鶏	0	3	1	0	0	0	0	0	4(28.6%)
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0(0.0%)
合計(割合)	0(0.0%)	12(85.7%)	1(7.1%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(7.1%)	14(100.0%)

資料: 県畜産振興課

注1: 調査期間はR5.7.1～R6.6.30

苦情発生件数は前年度から減少

令和6年度における畜産経営に起因する苦情発生件数は、前年度から減少した14件であった。その畜種別内訳は上記表のとおりであり、牛は6件、豚は4件、鶏は4件であった。

苦情の種類は悪臭発生が最も多く、その他としては、煙に関する内容の苦情もあった。

(2) 畜種別の糞尿処理状況

総排せつ物量(令和5年度) 895千t

ア 固形物

畜種	処理量(千t/年)	処理方法別 内訳(千t/年) ()内は割合			
		発酵	乾燥	焼却	その他
牛	382	377(99%)	3(1%)	0(0%)	2(0%)
豚	118	117(99%)	0(0%)	0(0%)	1(1%)
鶏	293	253(86%)	13(4%)	26(9%)	1(0%)
合計	793	747(94%)	17(2%)	26(3%)	4(0%)

イ 液状物

畜種	処理量(千t/年)	処理方法別 内訳(千t/年) ()内は割合		
		液肥	浄化	その他
牛	9	2(24%)	2(26%)	4(49%)
豚	93	2(3%)	91(97%)	0(0%)
合計	102	5(4%)	93(91%)	4(4%)

資料: 県畜産振興課

注: なお、四捨五入表示をしているため、各内訳を積み上げた数値は合計の数値と一致しない場合がある。

総排せつ物量の88.6%が固形物

令和5年度における家畜糞尿の処理状況は、総排せつ物量895千tの約89%に当たる793千tが固形物として処理され、残り約11%に当たる102千tが液状物として処理された。

固形物は、各畜種とも9割以上が発酵もしくは乾燥処理されており、計763千tが堆肥として農地還元された。また、液状物は、5千tが液肥として農地還元され、約91%に当たる93千tが浄化処理された。

10 畜産コンサルタント事業

診断件数	R3	R4	R5
酪農	1	0	0
肉用牛	10	11	10
乳肉複合	1	1	1
養豚	0	0	0
肉用牛養鶏複合	0	1	1
計	12	13	12

資料:(一社)岐阜県畜産協会

令和5年度畜産コンサルタント事業の実施件数は12件である。
畜産コンサルタントによつて的確に経営分析され、具体的な助言指導が実施された。

11 家畜の改良と増殖

(1)ブロック別家畜登録状況(令和5年度)

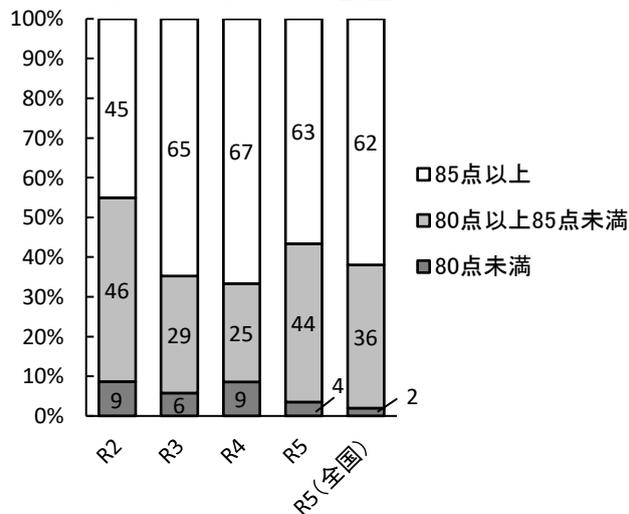
ホルスタイン登録			和牛登録			種豚登録		
取扱団体	登録数	血液型検査等	分室	登録数	遺伝子型検査等	地域	登録数	県外への移動等
岐阜酪農組合	82	348	美濃事業分室	2,503	1,362	岐阜地域	13	0
羽島市	48		郡上事業分室	797		西濃地域		
美濃酪連	216		飛騨事業分室	5,435		中濃地域		
飛騨酪農協	164		東濃地域					
個人	10		飛騨地域					

資料:(一社)岐阜県畜産協会

令和5年度家畜登録件数は、ホルスタイン868件、和牛10,097件、豚13件の合計10,978件であった。前年に比べ、ホルスタインが119件(12%)の減少、和牛が25件(0.2%)の減少、豚が17件(57%)の減少であった。

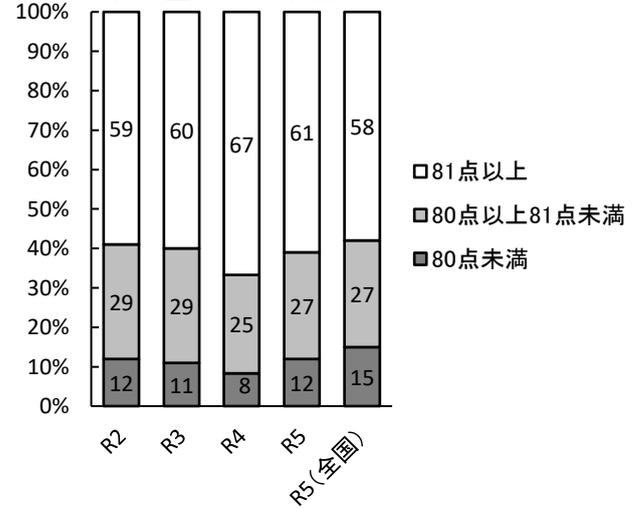
(2)得点別登録状況

ホルスタイン牛群審査



*全国データ:(一社)日本ホルスタイン登録協会、(公社)全国和牛登録協会

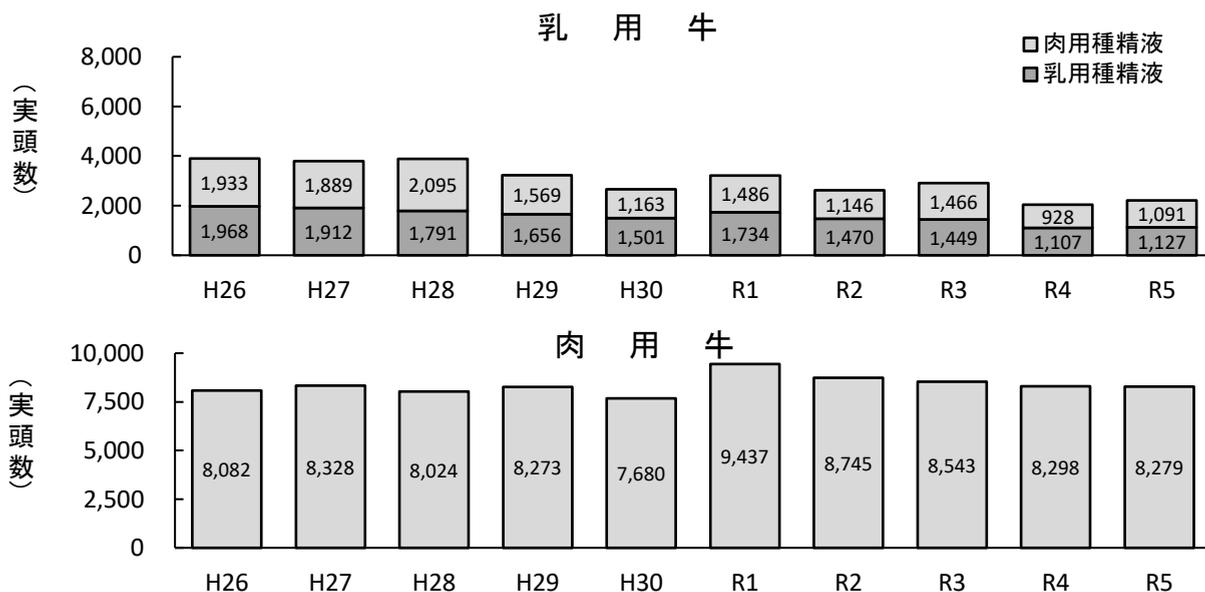
和牛基本・本原登録



資料:(一社)岐阜県畜産協会

令和5年度の体型得点は、ホルスタインが80点以上が97%、和牛では80点以上が88%を占めている。

(3)人工授精頭数の推移



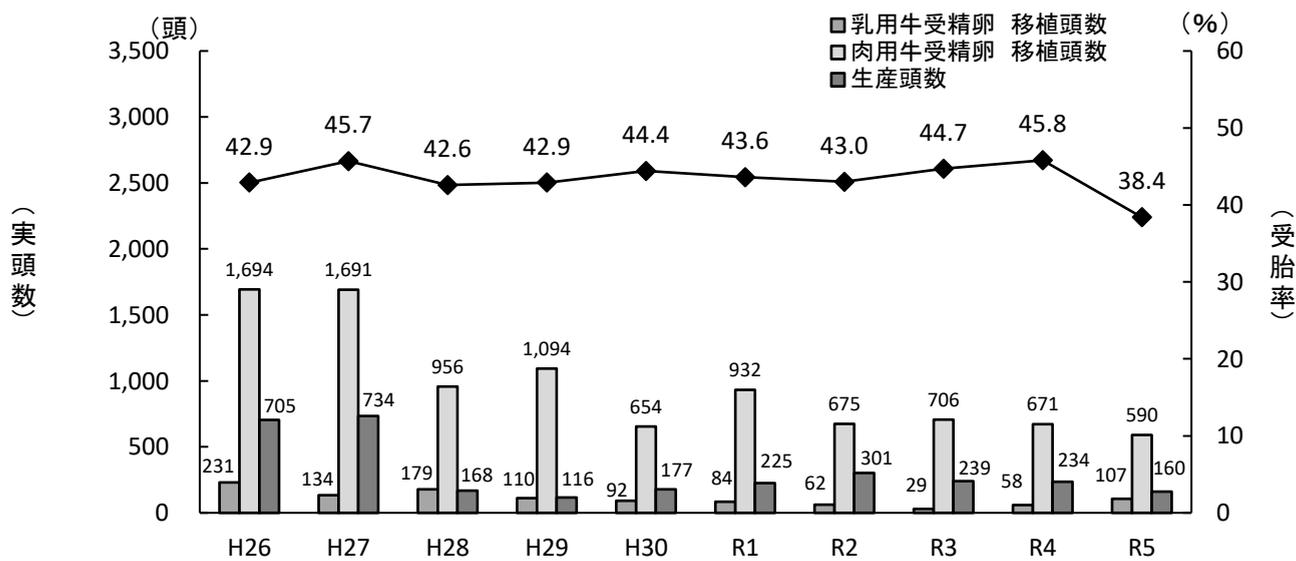
資料: 県家畜防疫対策課

乳用牛は増加、肉用牛は減少

令和5年次に報告された人工授精頭数は、乳用牛では総頭数が2,218頭で、前年に比べて9.0%増加した。うち肉用種精液による頭数は17.6%増加、乳用種精液は1.8%増加した。

肉用牛では総頭数が8,279頭であり、前年と比較して0.2%減少した。

(4)受精卵移植成績の推移



資料: 県家畜防疫対策課

移植頭数、受胎率、生産頭数が減少

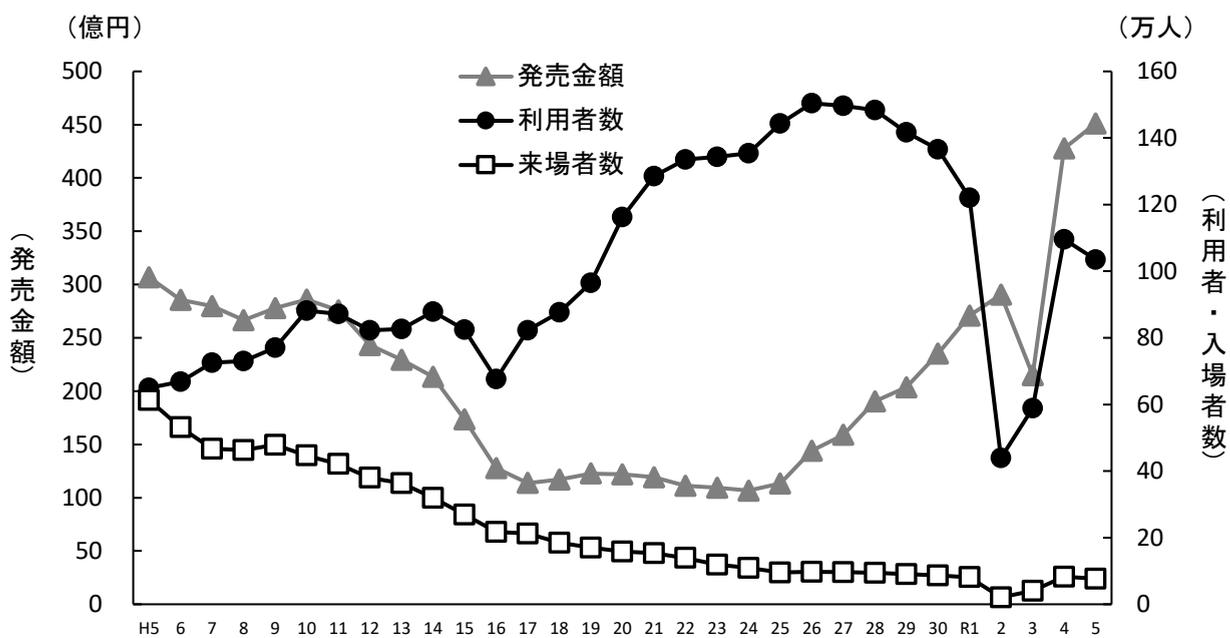
令和5年度体内受精卵移植頭数は、704頭(乳用牛受精卵107頭、肉用牛受精卵590頭、F1受精卵7頭)で、対前年比87%であった。乳用牛受精卵は、乳用牛107頭に移植し、肉用牛受精卵は、乳用牛266頭、肉用牛299頭、F1 25頭に移植した。

採卵実績は、正常卵が令和4年度1,931卵(乳用牛160卵、肉用牛1,771卵)に対し、令和5年度は、1,725卵(乳用牛203卵、肉用牛1,522卵)であった。

受胎率は令和4年度が45.8%であったのに対し、令和5年度は38.4%と低下し、生産頭数は令和4年度が234頭であったのに対し、令和5年度は160頭と減少した。

12 競 馬

競馬事業成績の推移

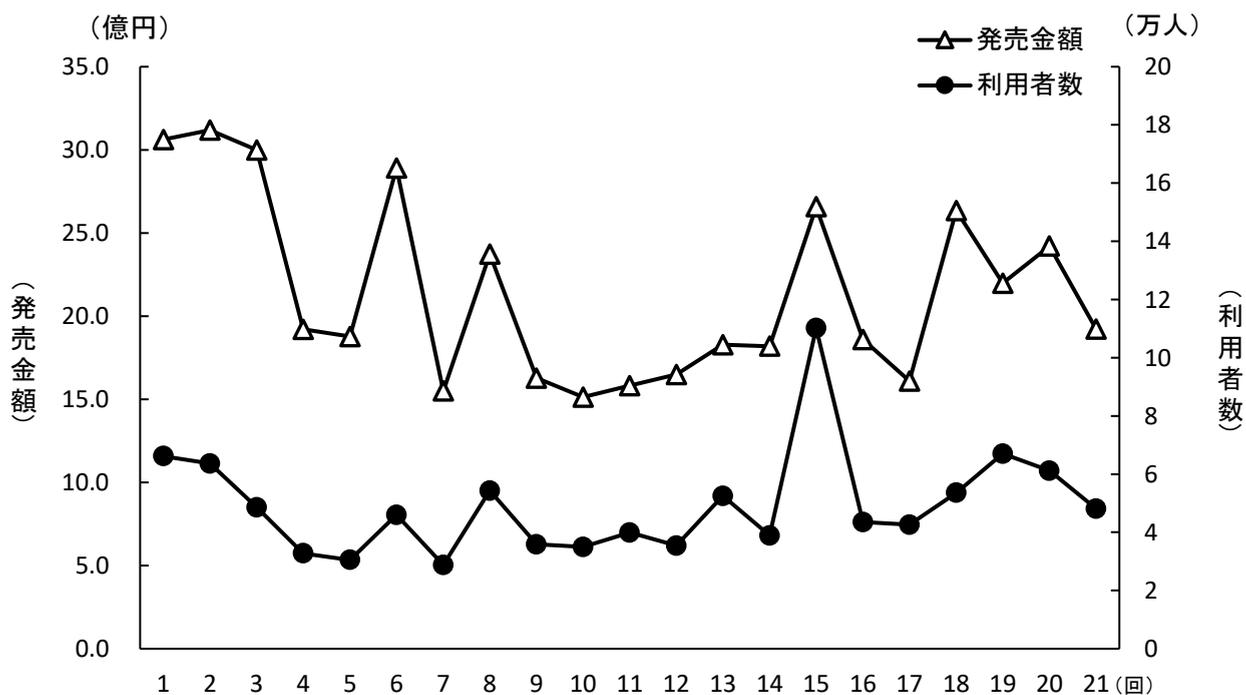


資料: 県農政課笠松競馬支援室

注1: 来場者数には、シアター恵那入場者数を含まない

注2: 利用者数は、インターネット利用者等を含まない

令和5年度 開催別成績



資料: 県農政課笠松競馬支援室

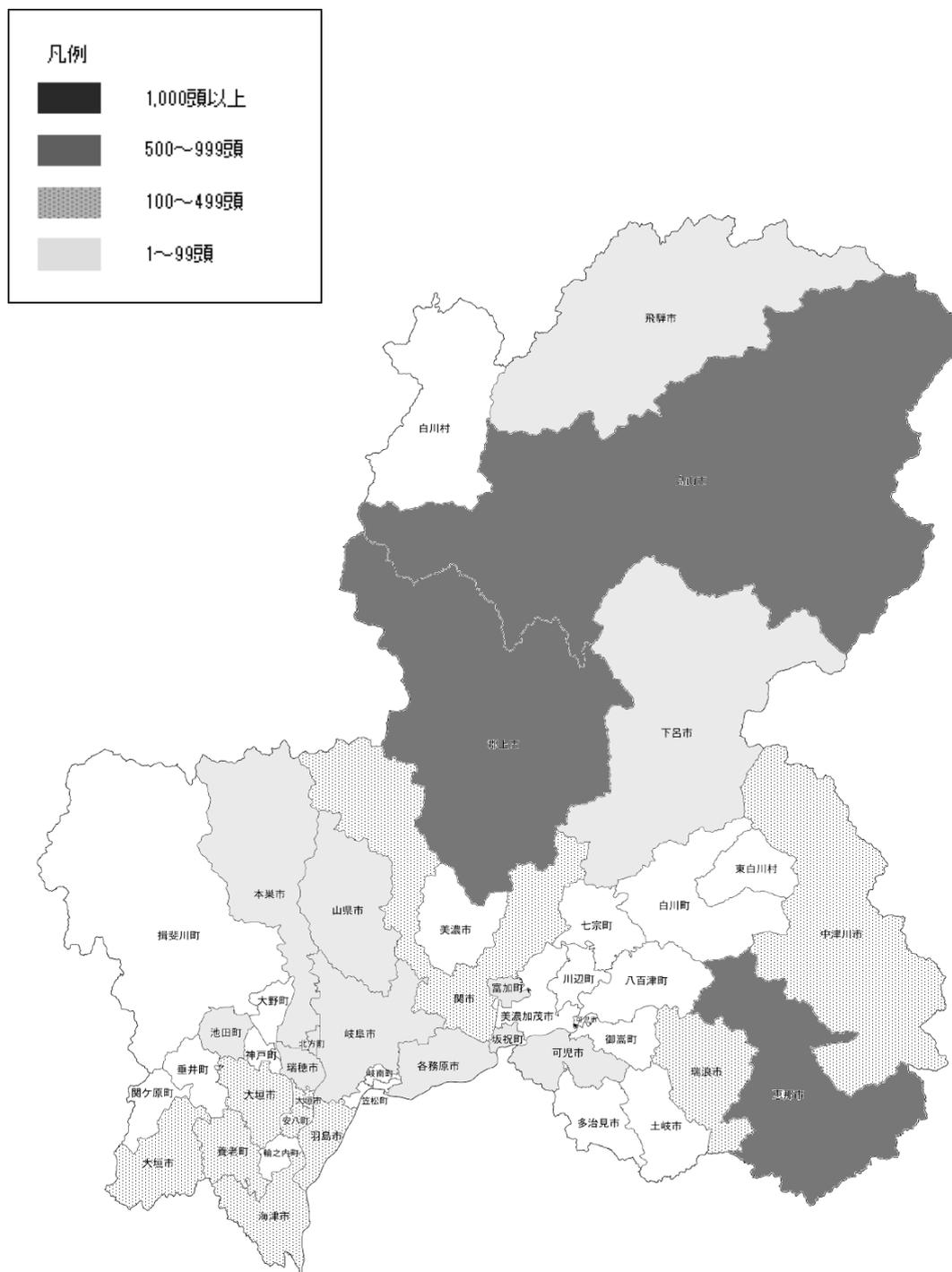
発売金額は前年に比べやや増加

岐阜県地方競馬組合は、令和5年度に21回96日開催した。利用者数は1,034,602人で前年に比べ5.5%減少、発売金額は約451億円で前年に比べ5.4%増加した。

Ⅱ 畜種別の動向

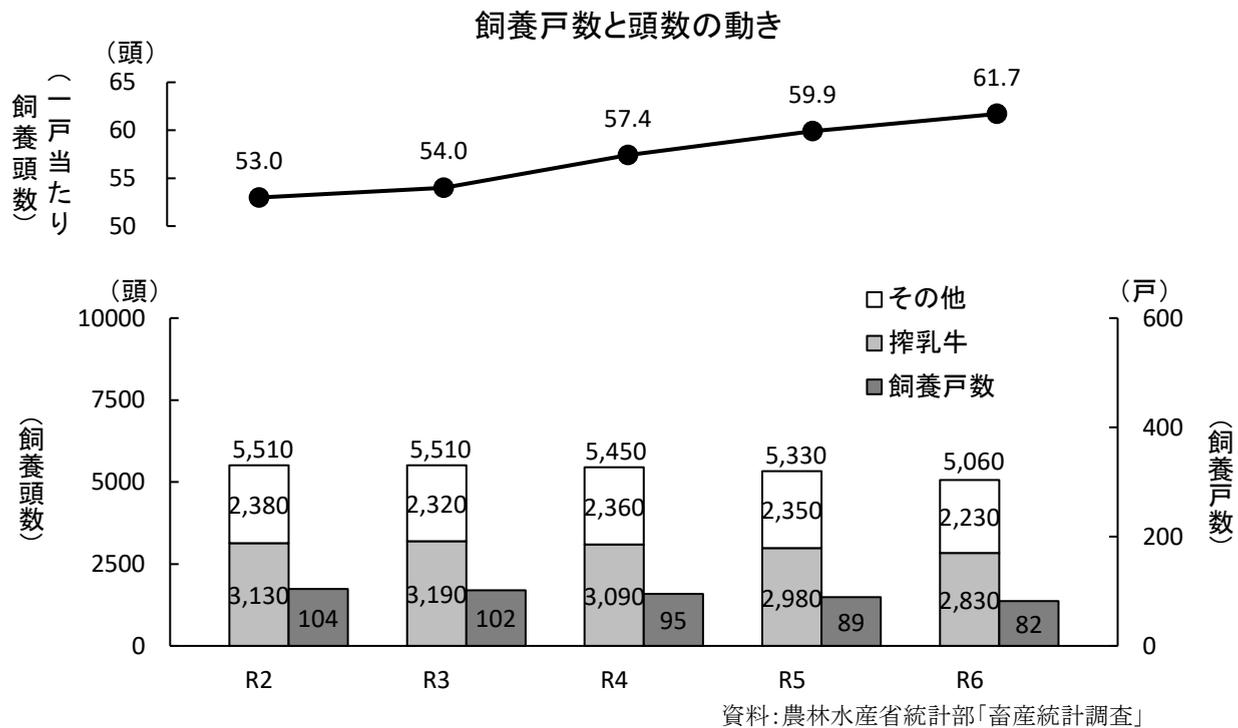
1 乳用牛

(1) 乳用牛の飼養頭数の分布(令和6年2月1日現在)



資料: 県畜産振興課

(2) 乳用牛の飼養戸数と頭数

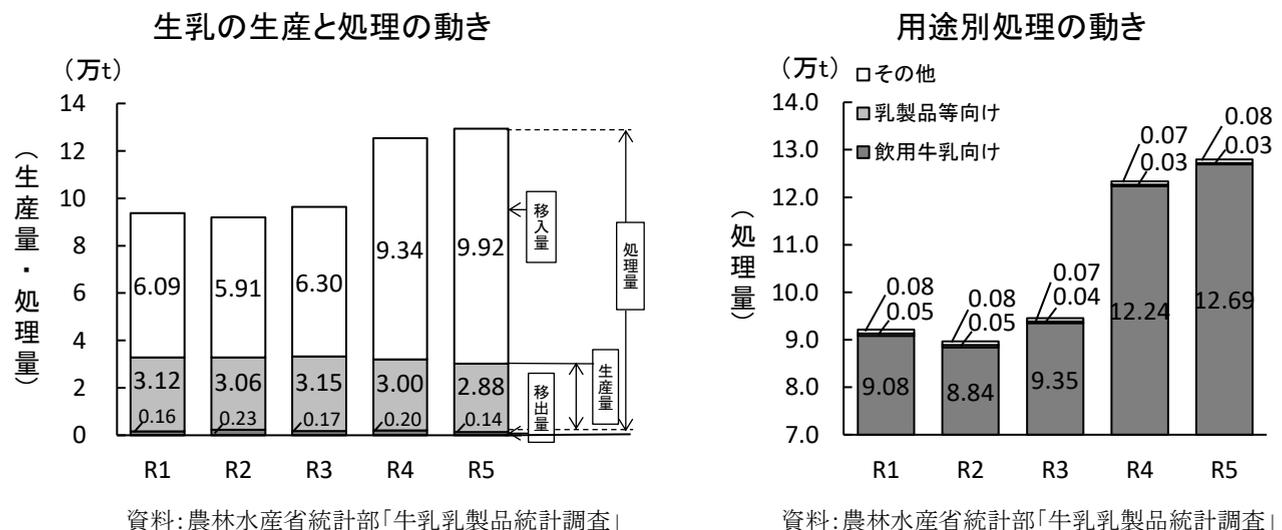


飼養戸数はかなりの程度減少、1戸当たり飼養頭数はやや増加

令和6年2月1日現在の飼養戸数は82戸で、前年に比べ7.9%減少した。また飼養頭数は5,060頭で前年に比べ5.1%減少した。1戸当たり飼養頭数は61.7頭と前年に比べ3.0%増加した。

飼養頭数のうち搾乳牛頭数は2,830頭で、前年に比べ5.0%減少した。飼養頭数に占める搾乳牛頭数の割合は55.9%で、全国の53.7%に比べ高くなっている。

(3) 生乳の生産と処理量

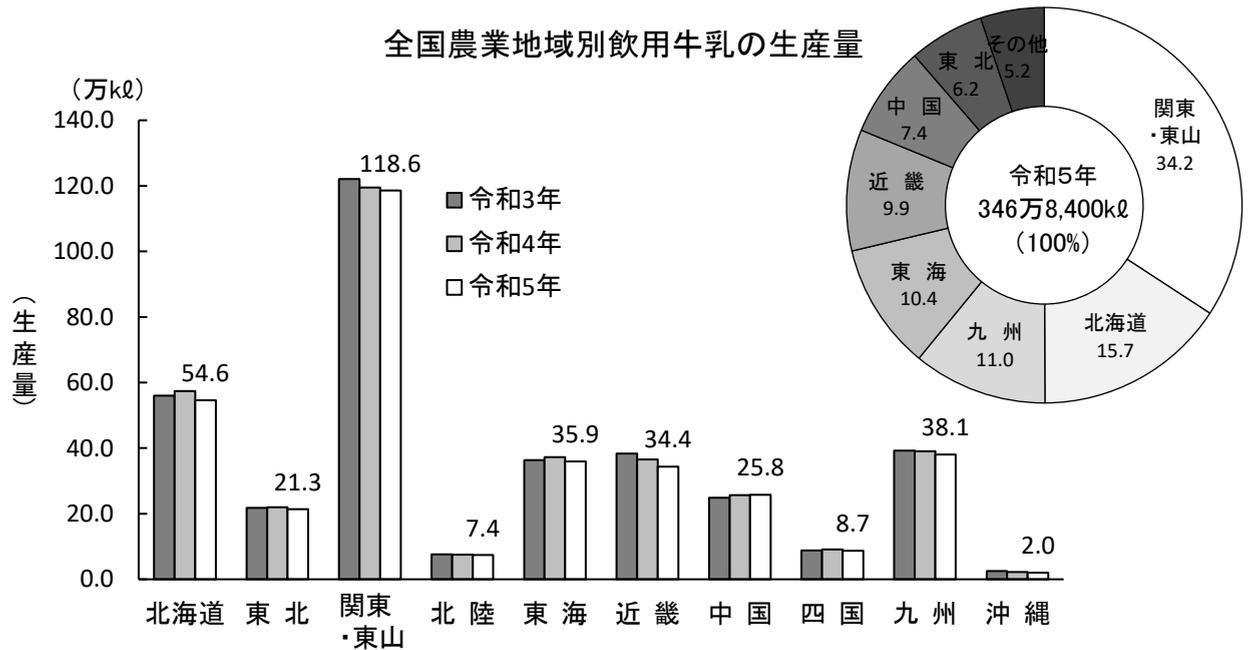


生乳生産量はやや減少

令和5年の生乳の生産量は、3万222tで前年に比べやや減少した。処理量は、12万7,989tで前年に比べやや増加した。

用途別処理量は、飲用牛乳向けが12万6,908tで前年に比べやや増加した。乳製品等向け処理量が309t、その他が772tであった。この結果、飲用牛乳向け比率は、99.2%となった。

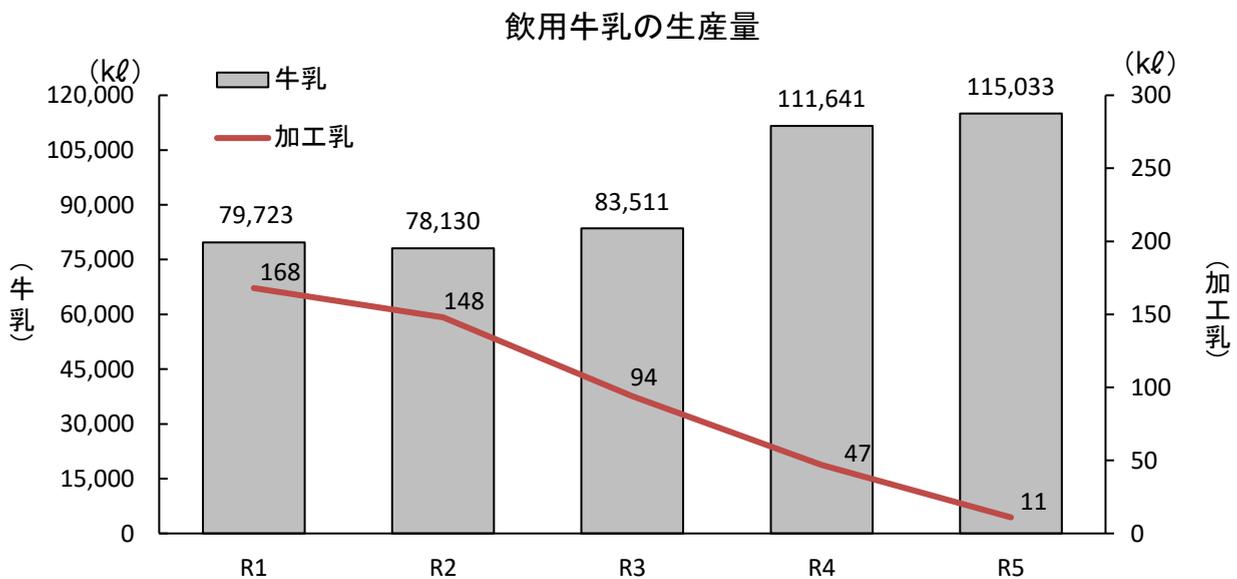
(4) 全国の飲用牛乳の生産



飲用牛乳の生産量はわずかに減少

令和5年の全国の飲用牛乳生産量は346万8,400kℓとなり、前年と比べわずかに減少した。地域別の生産量は、大消費地を抱える関東・東山地域が最も多く、次いで北海道、九州の順となった。

(5) 飲用牛乳の生産

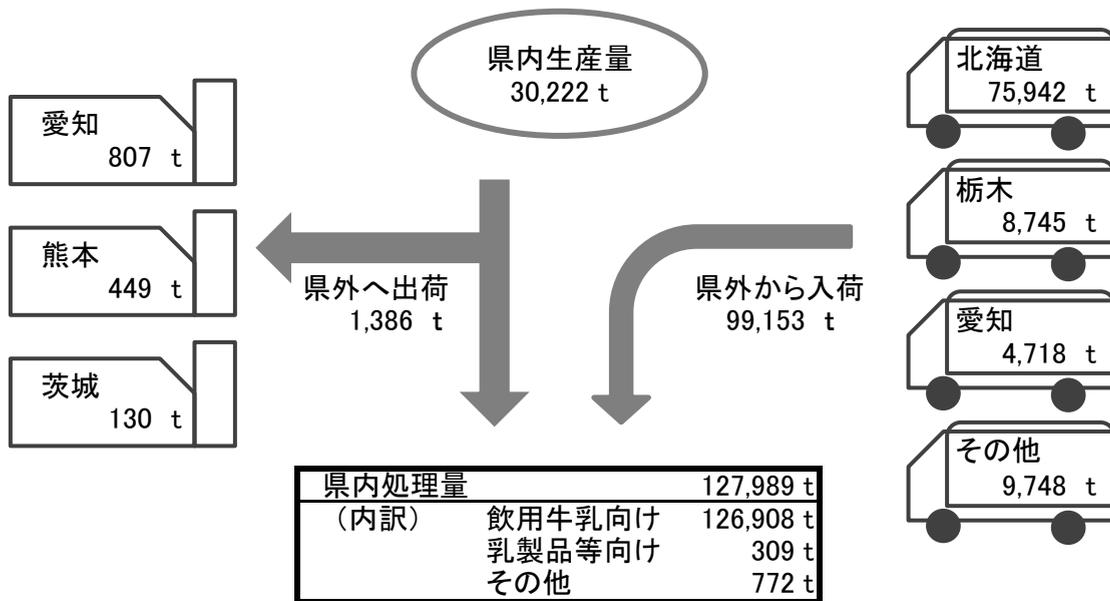


飲用牛乳の生産量はやや増加

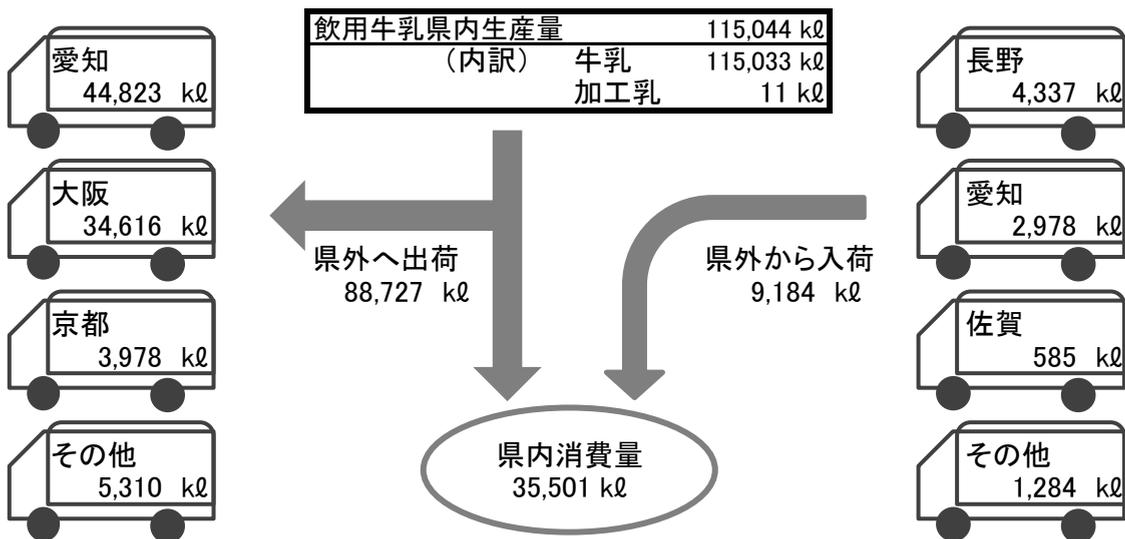
令和5年の飲用牛乳の生産量は11万5,044kℓで、前年に比べやや増加した。このうち牛乳は11万5,033kℓでやや増加し、加工乳は11kℓで76.6%減少した。

(6) 生乳と飲用牛乳の流通

生乳の流通経路(令和5年1月～令和5年12月)



飲用牛乳の流通経路(令和5年1月～令和5年12月)



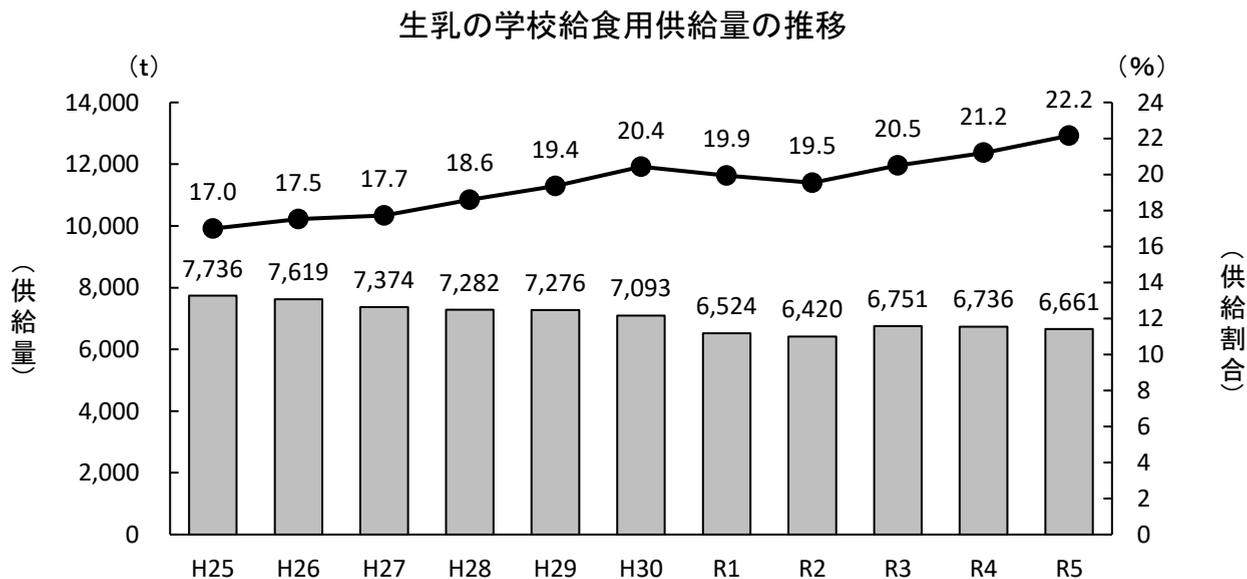
*「県内消費量」=「県内生産量」+「入荷量」-「出荷量」

資料:農林水産省統計部「牛乳乳製品統計調査」

生乳の処理量はやや増加

令和5年に県内処理工場へ搬入された生乳は、県内で生産されたもの3万222tのうち95.4%に当たる2万8,836tと県外からの移入量9万9,153tを加えた12万7,989tであった。また、県内の飲用牛乳の消費量は3万5,501kℓであった。

(7) 生乳の学校給食用供給量の推移



資料: 県畜産振興課「学校給食用牛乳供給事業調査」

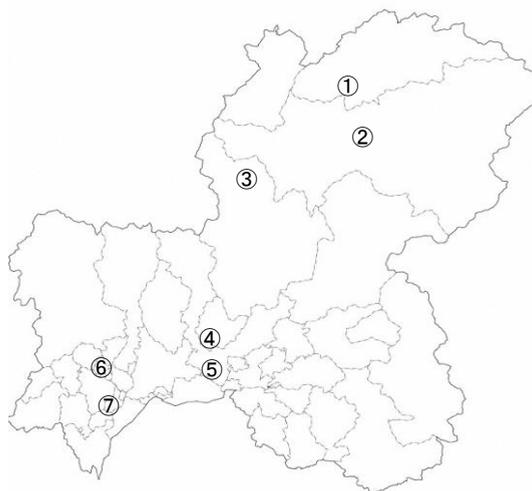
供給量はわずかに減少、供給割合はやや増加

令和5年度の生乳の学校給食用供給量は、児童生徒数の減少により、前年度比1.1%減の6,661tと減少した。また、生乳の総生産量に対する供給割合は、22.2%と上昇した。
(令和5年度県内生乳生産量 30,067t)

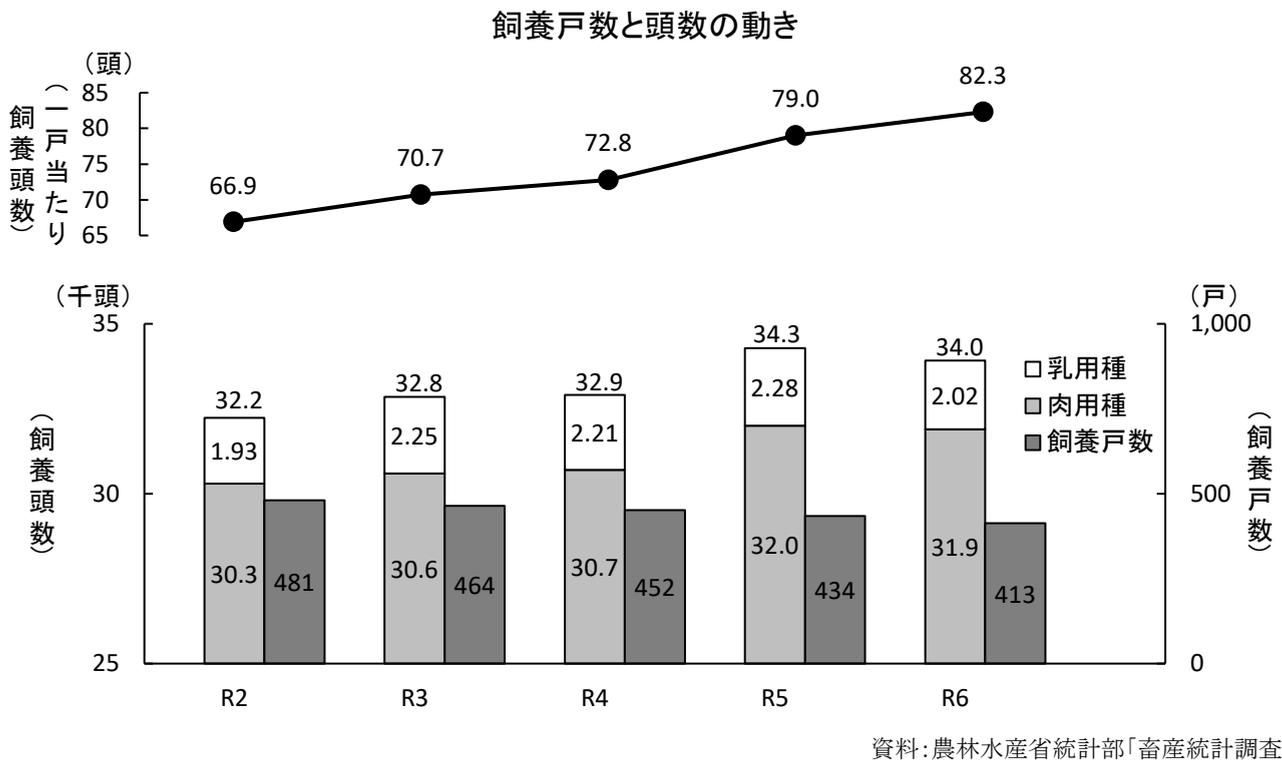
(8) 県内の学校給食用牛乳供給乳業工場

	工場名	〒	所在地	電話番号	FAX番号
①	(有)牧成舎	509-4242	飛騨市古川町増島町17-8	0577-73-2226	0577-73-4763
②	飛騨酪農農業協同組合	506-0035	高山市新宮町3369	0577-32-0208	0577-32-0315
③	(株)たかすファーマーズ	501-5301	郡上市高鷲町ひるがの4670-233	0575-73-1022	0575-73-1023
④	美濃酪農農業協同組合連合会 北濃工場	501-3756	美濃市生榎472	0575-33-4455	0575-35-1262
⑤	関牛乳(株)	501-3835	関市観音前41	0575-22-0402	0575-22-3043
⑥	東海牛乳(株)	503-2304	安八郡神戸町丈六道66	0584-27-4131	0584-27-7511
⑦	グリコマニュファクチャリングジャパン(株) 岐阜工場	503-0123	安八郡安八町南條1201	0584-64-2345	0584-64-4511

資料: 県畜産振興課



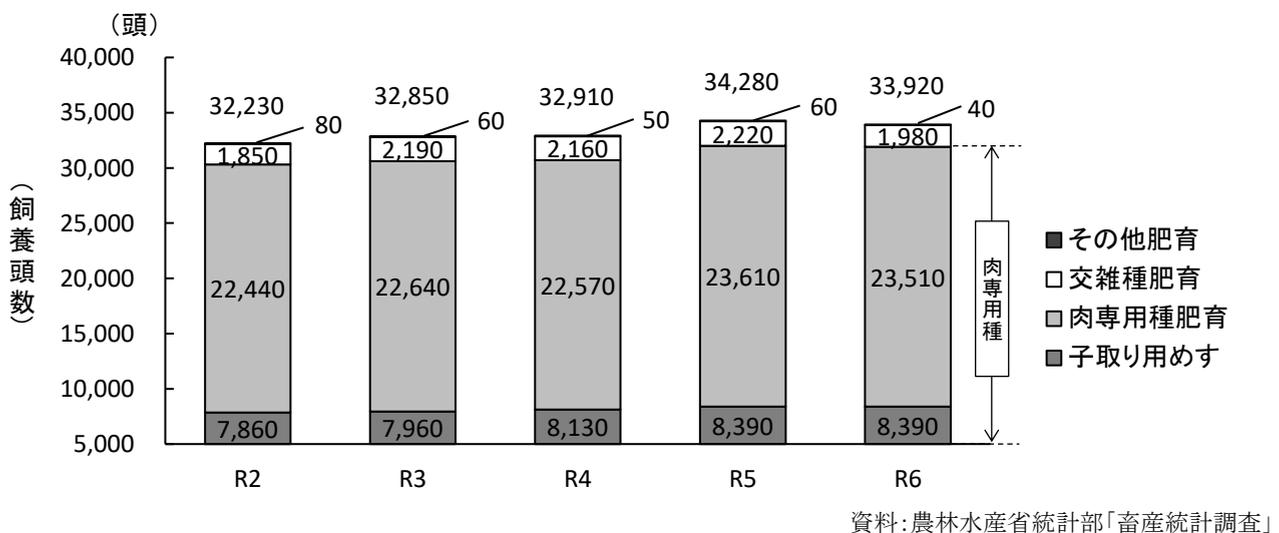
(2) 肉用牛の飼養戸数と頭数



飼養戸数はやや減少、1戸当たり飼養頭数はやや増加

令和6年2月1日現在の飼養戸数は413戸で、前年に比べ4.8%減少した。
 また、飼養頭数は3万4,000頭で、前年に比べ0.9%減少した。種類別にみると、肉用種は3万1,900頭で前年に比べ0.3%減少し、乳用種は2,020頭で前年に比べ11.4%減少した。1戸当たり飼養頭数は82.3頭で、前年に比べ4.2%増加した。

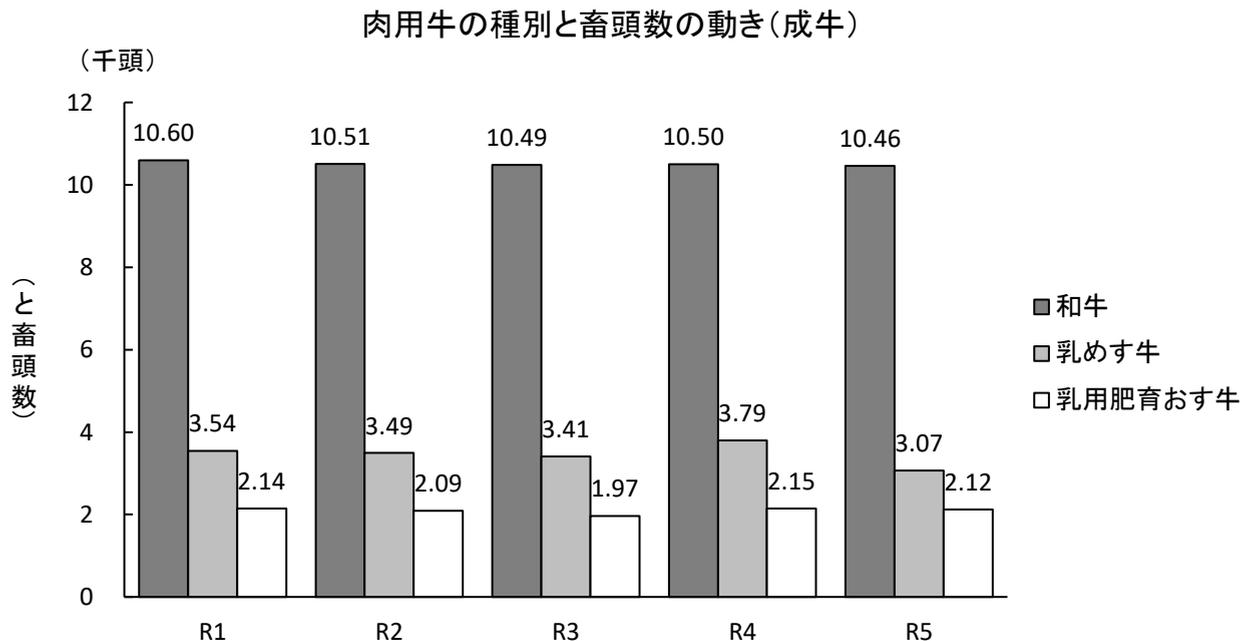
(3) 肉用牛の種別飼養頭数



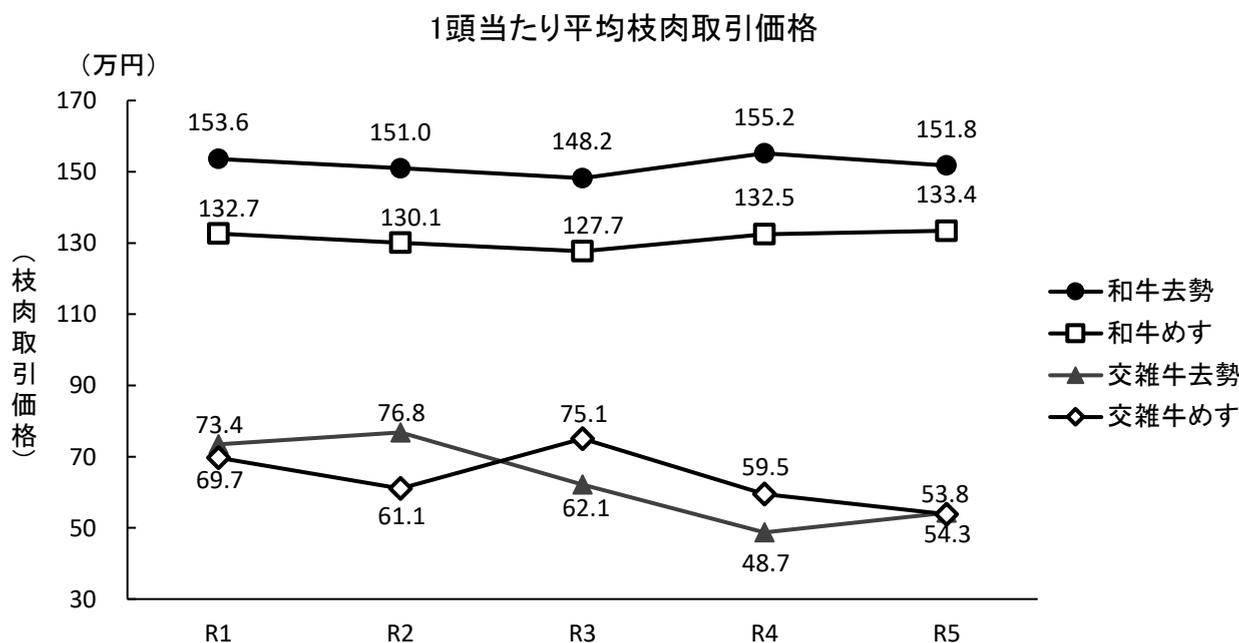
子取り用めす牛、肉専用種肥育牛の飼養頭数は前年並み、交雑種肥育牛はかなりの程度減少

子取り用めす牛飼養頭数は8,390頭、肉専用種肥育牛の飼養頭数は2万3,510頭で、横ばいに推移した。
 また、交雑種肥育牛頭数は1,980頭で、10.8%減少した。

(4) 肉用牛のと畜頭数と取引価格



資料:農林水産省統計部「と畜場統計調査」



*枝肉取引価格は岐阜市食肉地方卸売市場の価格

資料:農林水産省統計部「食肉卸売市場調査」

肉用牛のと畜頭数はほぼ前年並み、和牛去勢の1頭当たり枝肉取引価格はわずかに減少

令和5年の肉用牛のと畜頭数は1万5,650頭で、前年に比べ4.8%減少した。畜種別にみると、和牛では0.4%、乳めす牛では19.1%、乳用肥育おす牛では1.2%減少した。

1頭当たりの平均枝肉取引価格は、和牛去勢151万7,756円、和牛めす133万4,333円、交雑牛去勢54万2,727円、交雑牛めす53万8,286円であった。前年に比べ和牛めすは0.7%、交雑牛去勢は11.4%増加したものの、和牛去勢は2.2%、交雑牛めすは9.6%減少した。

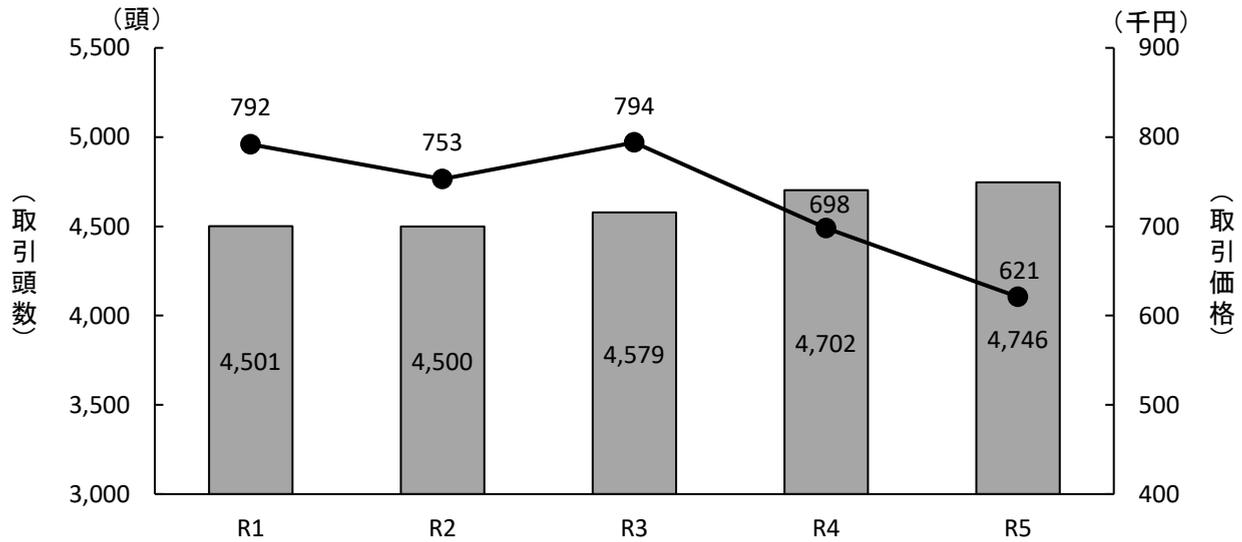
(5) 県内の子牛市場

市場名	〒	所在地	令和5年度年間取引頭数
飛騨家畜市場	506-0001	高山市冬頭町327	2,683 頭
関家畜市場	501-3928	関市西田原字大河原441	2,063 頭

資料:(独)農畜産業振興機構

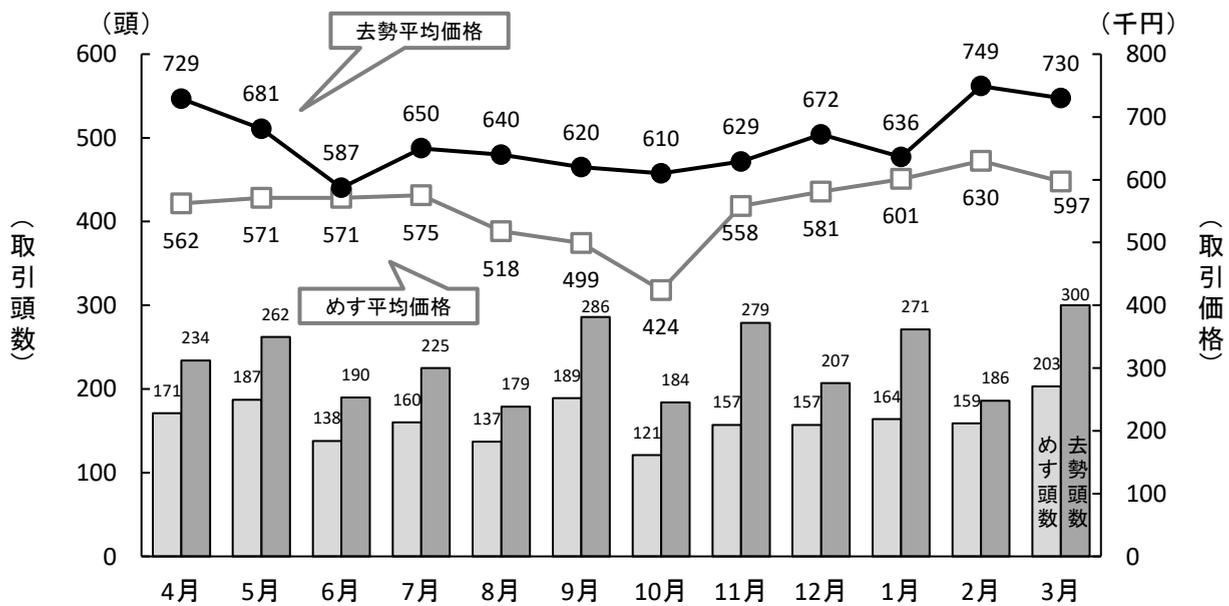
(6) 肉用子牛価格

年度別取引頭数と子牛価格の推移



資料:(独)農畜産業振興機構

令和5年度月別取引頭数と子牛市場相場の推移

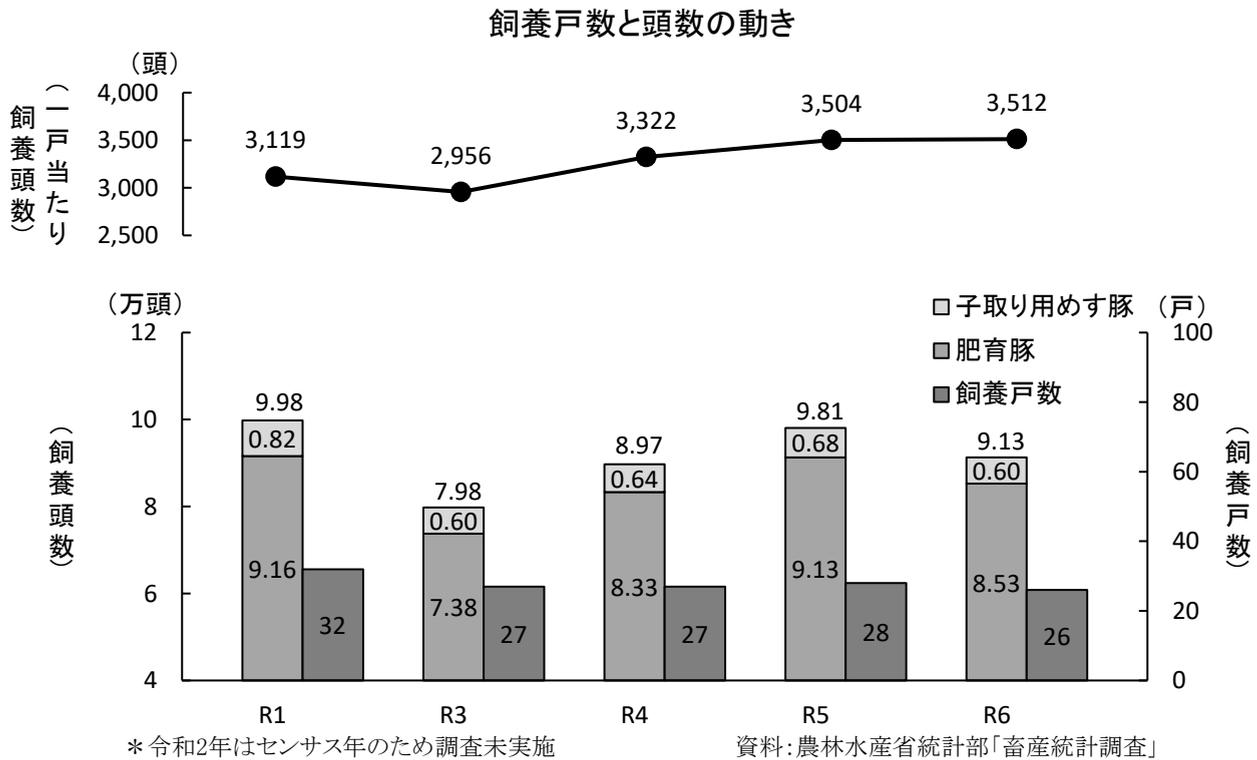


資料:(独)農畜産業振興機構

肉用子牛の取引頭数はほぼ前年並み、取引価格はかなり大きく減少

令和5年度の岐阜県内子牛市場の取引頭数は4,746頭で、前年と比べ0.9%増加した。肉用子牛価格は621千円で、前年に比べ11.0%減少した。

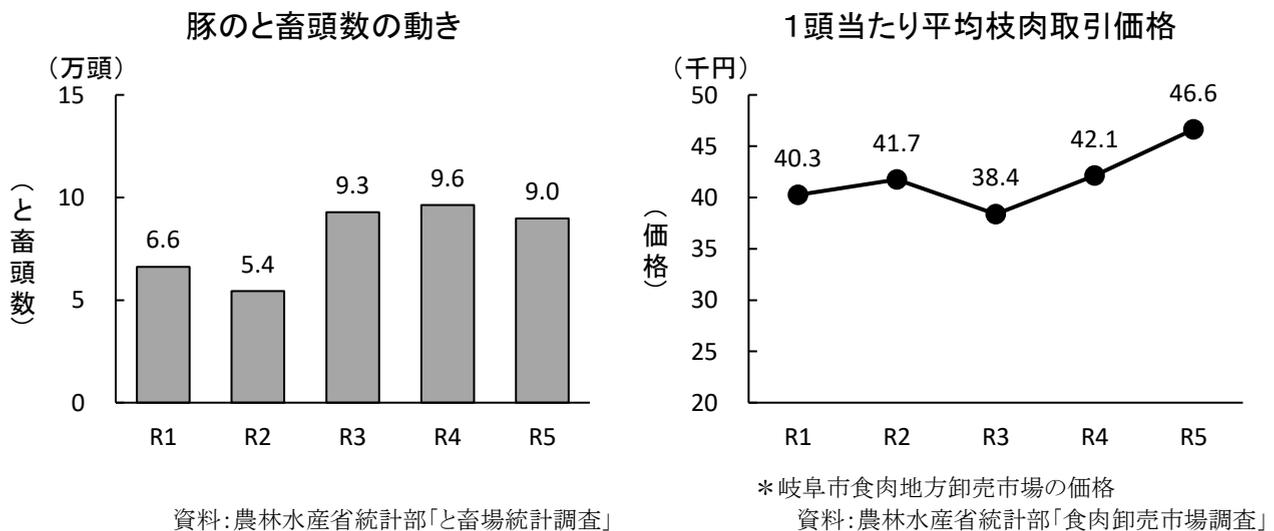
(2) 豚の飼養戸数と頭数



飼養頭数はかなりの程度減少、1戸当たり飼養頭数はほぼ前年並み

令和6年2月1日現在の飼養戸数は26戸で横ばい、飼養頭数は9万1,300頭で6.9%減少した。1戸当たり飼養頭数は3,512頭で、前年に比べ0.2%増加し、全国の1戸当たり飼養頭数2,811頭を上回っている。

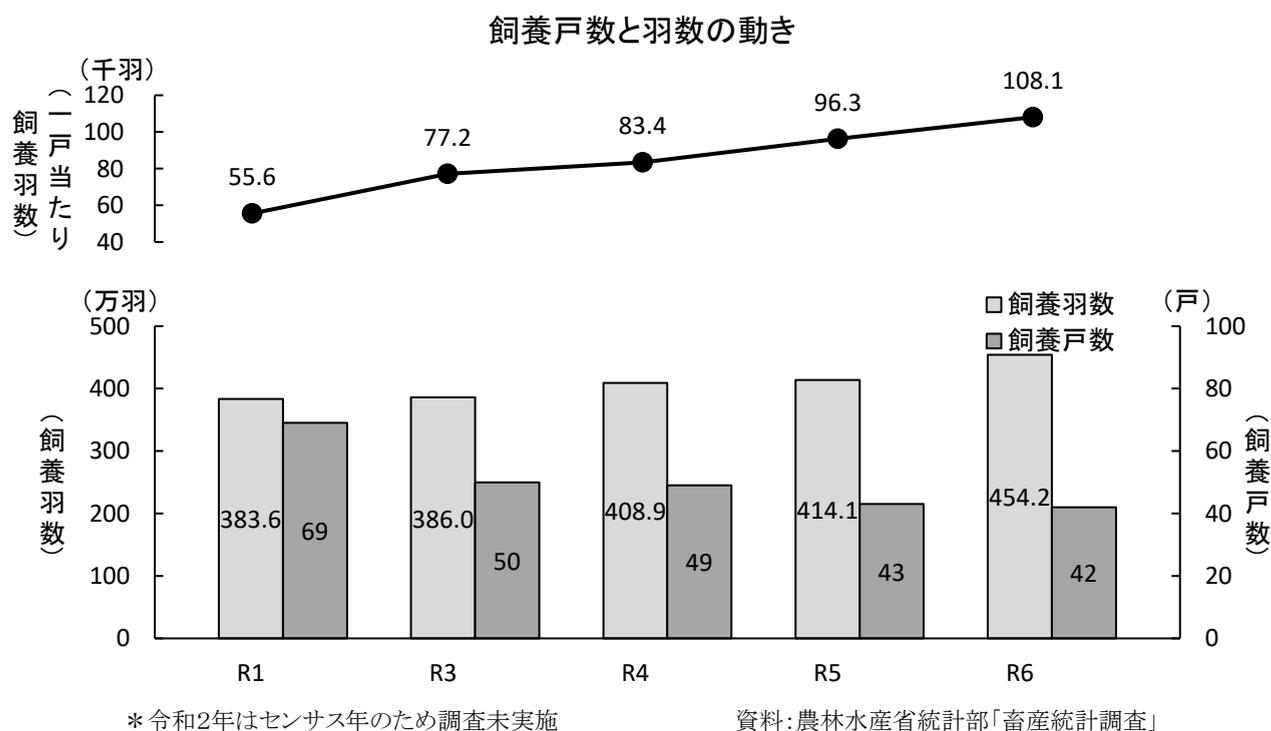
(3) 豚のと畜頭数と取引価格



と畜頭数はかなりの程度減少、1頭当たり枝肉取引価格はかなりの程度増加

令和5年の豚のと畜頭数は8万9,732頭で、前年と比べて6.8%減少した。肉豚1頭当たり平均枝肉取引価格は4万6,634円で、前年と比べて10.7%増加した。

(2)採卵鶏の飼養戸数と羽数

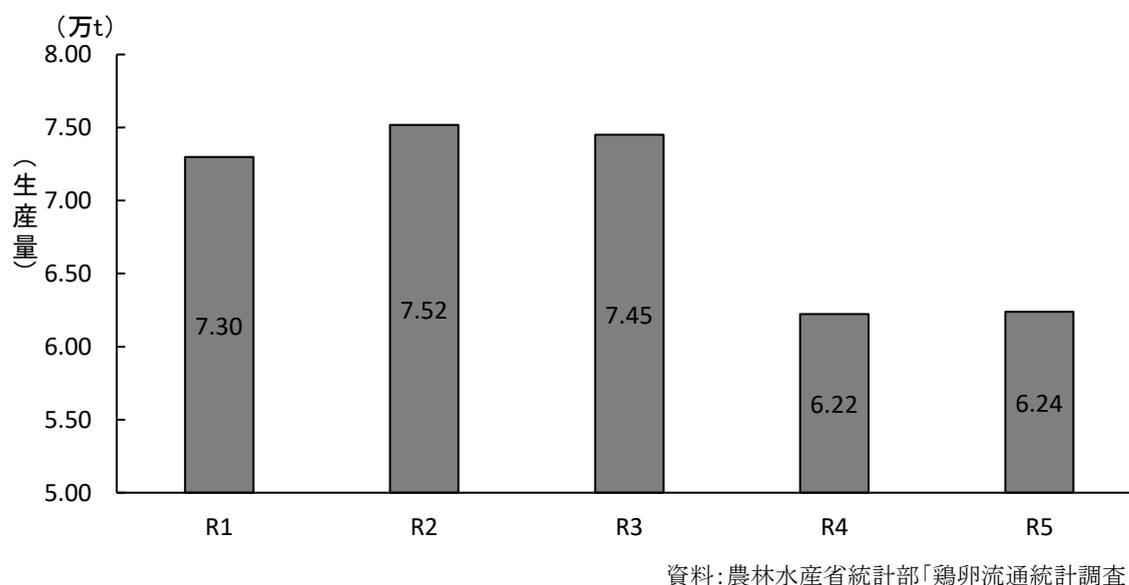


飼養羽数はかなりの程度増加、1戸当たり飼養羽数はかなり大きく増加

令和6年2月1日現在の飼養戸数(種鶏のみの飼養者を除く)は42戸で、前年より1戸減少した。成鶏めす飼養羽数(種鶏を除く)は454万2,000羽で、9.7%増加した。

なお、1戸当たり成鶏めす飼養羽数は108万1,000羽で、前年に比べ12.3%増加し、全国の1戸当たり成鶏めす羽数7万9,100羽を上回っている。

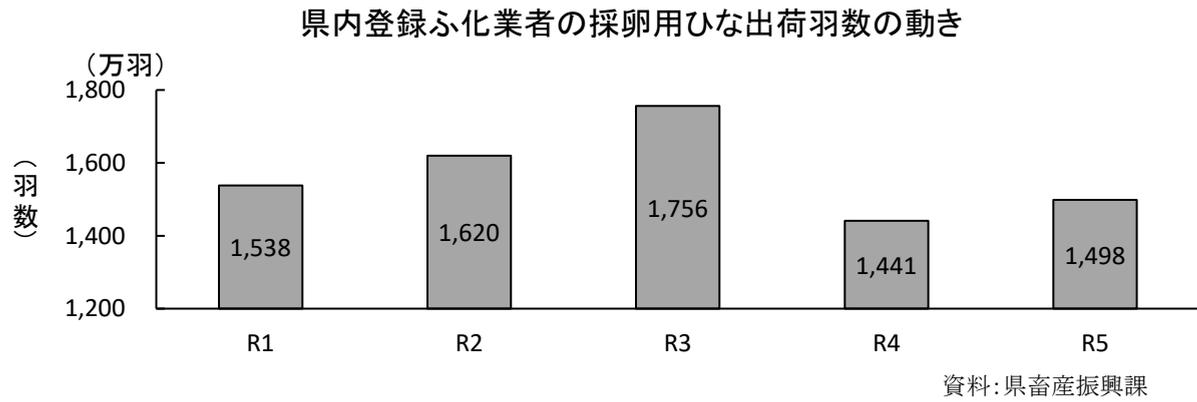
(3)鶏卵の生産量



生産量はほぼ前年並み

令和5年の鶏卵生産量は6万2,380tで、前年と比べて0.2%増加した。

(4) 採卵用ひな出荷羽数

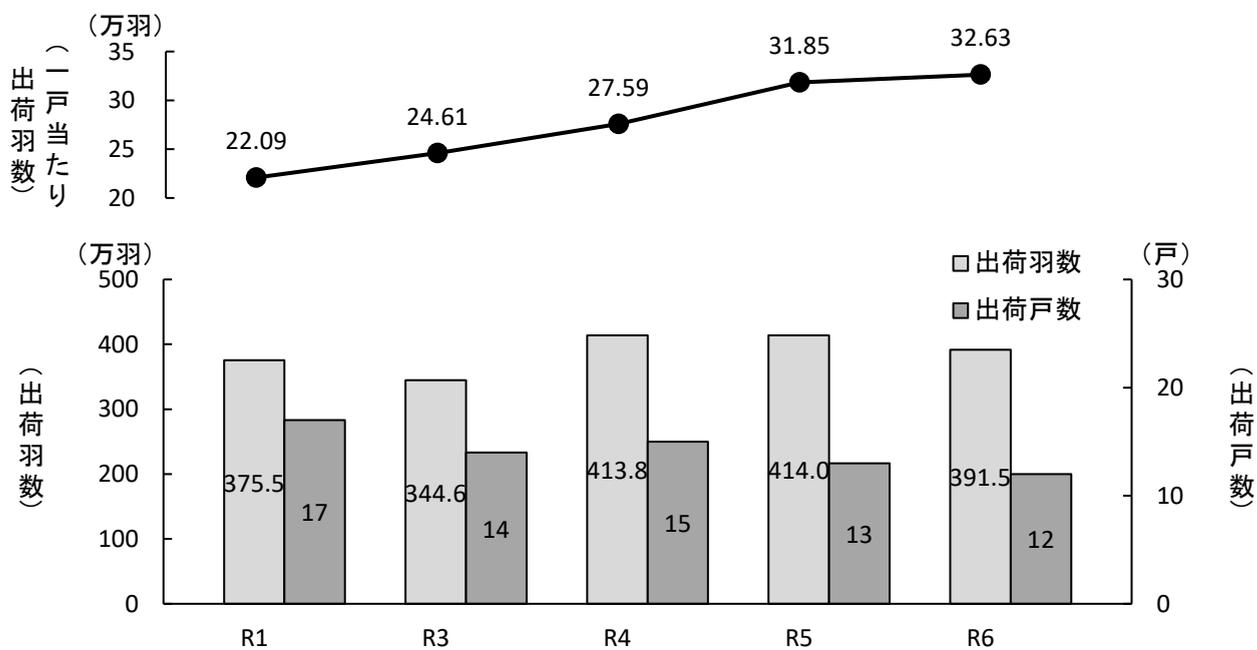


採卵用ひな出荷羽数はやや増加

令和5年の県内登録ふ化業者の採卵用ひな出荷羽数は、1,498万羽であり前年に比べ4.0%増加した。

(6)ブロイラーの出荷羽数

出荷戸数と羽数の動き



*令和2年はセンサス年のため調査未実施

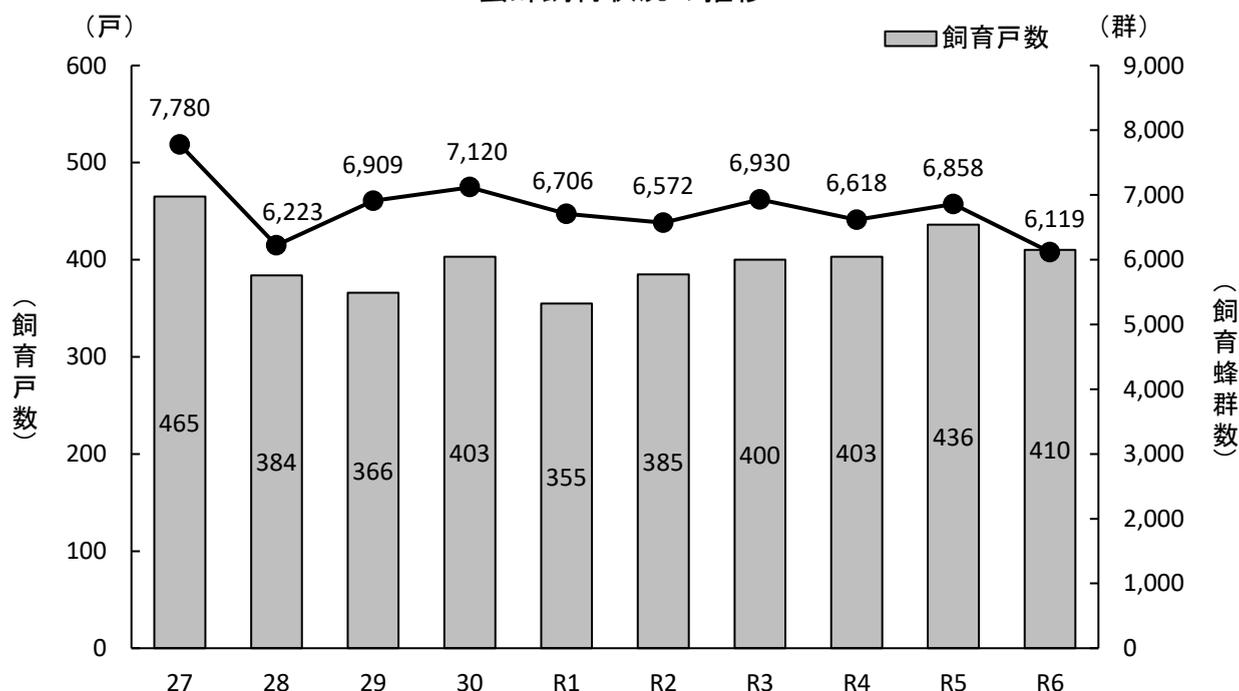
資料:農林水産省統計部「畜産統計調査」

出荷羽数はやや減少、1戸あたり出荷羽数はわずかに増加

令和6年2月1日現在の飼養戸数12戸で、前年より1戸減少した。出荷羽数は391.5万羽で、前年に比べ5.4%減少した。1戸あたり出荷羽数は32万6,300羽で、前年に比べ2.4%増加した。

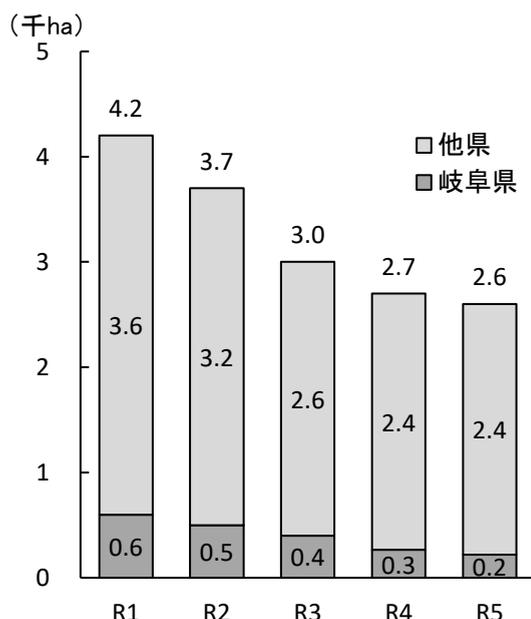
5 養蜂

蜜蜂飼育状況の推移



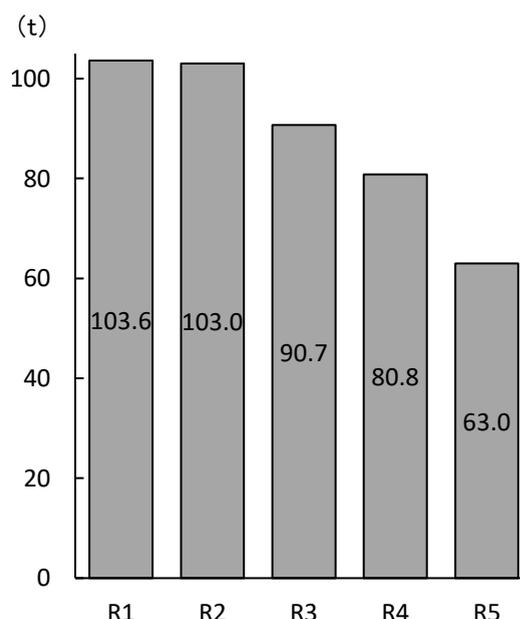
資料: 県畜産振興課

全国のレンゲ作付面積に占める岐阜県の割合



資料: 農林水産省「養蜂をめぐる情勢」、県畜産振興課

県内のはちみつ生産量



資料: 岐阜県養蜂組合連合会

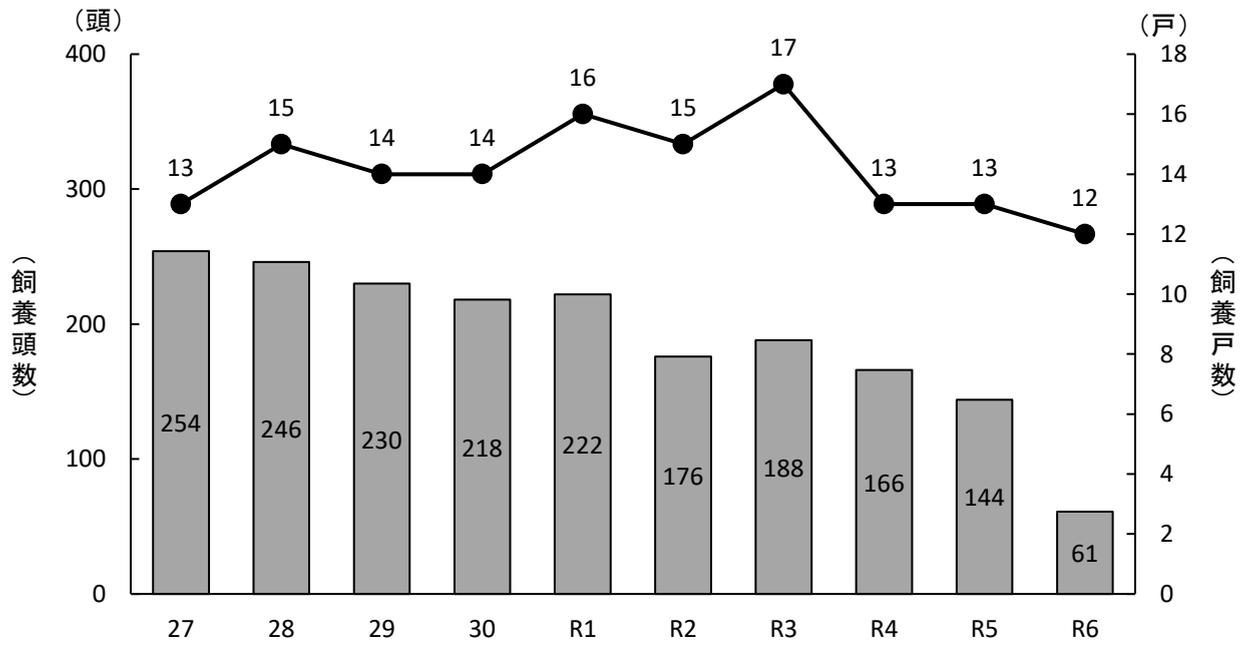
飼育戸数はやや増加、飼育蜂群数はかなりの程度減少

令和6年1月1日現在の飼育戸数は432戸で、前年に比べ2.6%増加し、飼育蜂群数は6,864群で、前年に比べ7.0%減少した。平成24年6月の養蜂振興法の改正に伴い、蜜蜂飼育届の対象者が養蜂業者に加え、自然環境に左右されやすいニホンミツバチの飼育者まで拡大されたことにより、飼育戸数及び蜂群数は不安定な推移となっていたが、近年は増加傾向となっている。

県の花であり、蜜源として重要な役割を果たしているレンゲの作付面積は、年々減少傾向にあり、令和5年は200haであった。令和5年の県内はちみつ生産量は63.0tと推定され、前年に比べ22.0%減少した。

6 めん羊・馬

(1) めん羊の飼養戸数と頭数

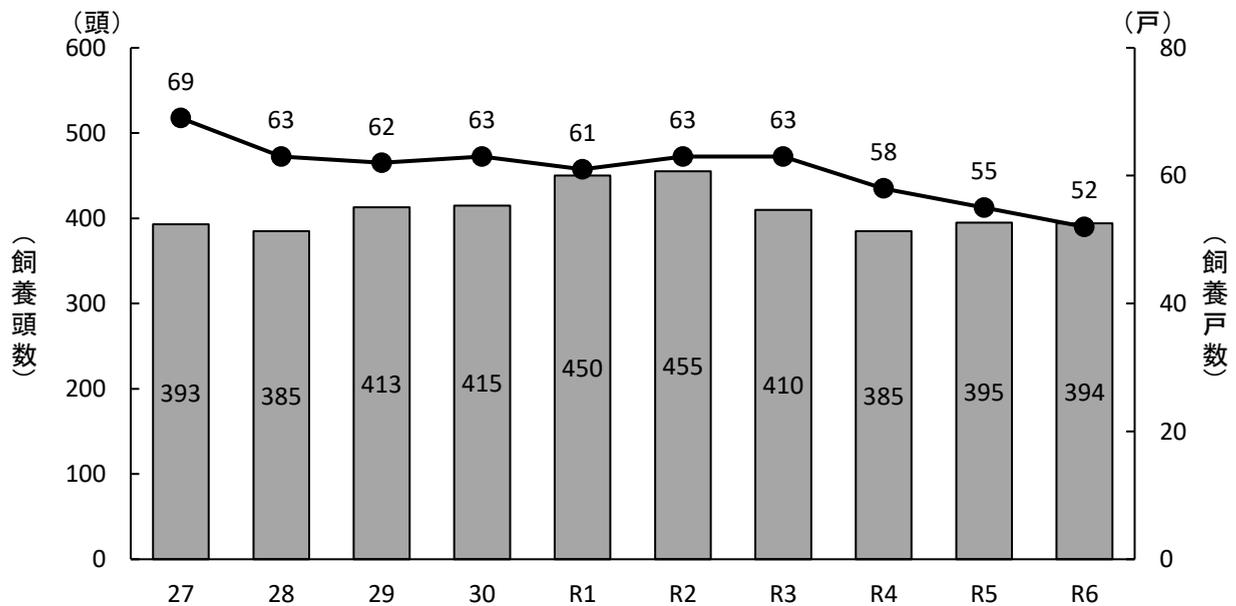


資料: 県畜産振興課

めん羊の飼養戸数は減少、飼養頭数は大幅に減少

令和6年2月1日現在のめん羊の飼養戸数は12戸であった。飼養頭数は、前年に比べて83頭減少し61頭となった。

(2) 馬の飼養戸数と頭数



* 笠松競馬は除く

資料: 県畜産振興課

馬の飼養戸数は減少、飼養頭数は前年並み

令和6年2月1日現在の馬の飼養戸数は52戸、飼養頭数は394頭であった。

公共牧場の概要

番号	区分 牧場名	牧場所在地	牧場所有者	牧場管理者※1	牧場面積 (ha)※1	左の内訳(ha)※1			牛の飼養可能頭数※1		
						牧草地※2	野草地 (混牧林地)	その他	乳用牛 ※3	肉用牛 ※3	その他
1	とうのうぼくじょう 東濃牧場	恵那市長島町鍋山	岐阜県	(一社)岐阜県農畜産公社	229.1	163.8 (53.9)	-	65.3	640 (640)	60 (60)	-
2	ひだぼくじょう 飛騨牧場	高山市清見町檜谷	岐阜県	(一社)岐阜県農畜産公社	368.3	281 (44)	-	87.3	-	570 (500)	-
3	みぞれぼくじょう 水沢上牧場	郡上市明宝奥住	郡上市	-	-	-	-	-	-	-	-
4	たきうえぼくじょう 滝上牧場	下呂市小坂町滝上	下呂市	-	-	-	-	-	-	-	-
5	くろいしぼくじょう 黒石牧場	下呂市馬瀬黒石	下呂市	-	-	-	-	-	-	-	-
6	いづいぼくじょう 岩井牧場	高山市岩井町	高山市	-	-	-	-	-	-	-	-
7	いっしきぼくじょう 一色牧場	高山市莊川町一色	高山市	-	-	-	-	-	-	-	-
8	ひらいわぼくじょう 平岩牧場	高山市朝日町胡桃島	飛騨森林管理署	-	-	-	-	-	-	-	-
9	おおひらぼくじょう 大平牧場	高山市朝日町胡桃島	岐阜森林管理署	-	-	-	-	-	-	-	-
10	ひだおんたけぼくじょう 飛騨御岳牧場	高山市高根町日和田・築之島	高山市	-	-	-	-	-	-	-	-
11	ほだかぼくじょう 穂高牧場	高山市奥飛騨温泉郷神坂	飛騨森林管理署	-	-	-	-	-	-	-	-
12	かりやすぼくじょう 莉安牧場	高山市一之宮町莉安	高山市	-	-	-	-	-	-	-	-
13	おどりやまぼくじょう 小鳥山牧場	高山市清見町池本	高山市	-	-	-	-	-	-	-	-
14	おおふなぼくじょう 大船牧場	恵那市上矢作町	恵那市	-	-	-	-	-	-	-	-
15	なかつがほくじょう 中津川市ふれあい牧場	中津川市落合	中津川市	-	-	-	-	-	-	-	-
16	くらいやまぼくじょう 位山牧場	下呂市萩原町山之口	下呂市	-	-	-	-	-	-	-	-
17	くてぼくじょう 久手牧場	高山市丹生川町久手	高山市	-	-	-	-	-	-	-	-
18	もりもぼくじょう 森茂牧場	飛騨市神岡町森茂	飛騨市	-	-	-	-	-	-	-	-
19	いしやすみぼくじょう 石休牧場	中津川市馬籠	中津川市	-	-	-	-	-	-	-	-
20	かくればたぼくじょう 隠畑放牧場	高山市朝日町青屋	高山市	-	-	-	-	-	-	-	-
21	きびゅうぼくじょう 黍生牧場	高山市高根町黍生	黍生地区区有林	-	-	-	-	-	-	-	-
22	まんなみぼくじょう 万波牧場	飛騨市宮川町万波	飛騨市	-	-	-	-	-	-	-	-
合計											

※1 牧場管理者、牧場面積、牛の飼養可能頭数は、県営牧場(東濃牧場、飛騨牧場)のみ表示。

資料: 県畜産振興課

※2 牧場面積欄の()内は採草地及び兼用地で内数。

※3 乳用牛欄・肉用牛欄の上段は夏期飼養可能頭数、下段()内は冬季飼養可能頭数。

県内畜産関係機関一覧(順不同) ※令和7年3月1日時点

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
東海農政局岐阜県拠点(統計チーム)	500-8288	岐阜市中鷲2-26	(058)271-4065	271-4066
岐阜県農政部畜産振興課	500-8570	岐阜市藪田南2-2-1 (養豚・養鶏係) (酪農・飼料係／畜産基盤係／銘柄推進係)	(058)272-1111(代) (058)272-8449(直) (058)272-8447(直)	278-2694
岐阜県農政部家畜防疫対策課		(防疫推進係) (防疫指導係) (捕獲調査係) (経口ワクチン対策係)	(058)272-8909(直) (058)272-8446(直) (058)272-8096(直) (058)272-8892(直)	278-3533
岐阜農林事務所	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 OKBふれあい会館内	(058)213-7905(直)	215-9029
西濃農林事務所	503-0838	大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内	(0584)73-1111(代)	73-1156
揖斐農林事務所	501-0603	揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内	(0585)23-1111(代)	22-6725
中濃農林事務所	501-3756	美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎内	(0575)33-4011(代)	33-4060
郡上農林事務所	501-4292	郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内	(0575)67-1111(代)	67-0961
可茂農林事務所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎内	(0574)25-3111(代)	28-5301
東濃農林事務所	507-8708	多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内	(0572)23-1111(代)	23-9440
恵那農林事務所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎内	(0573)26-1111(代)	26-1377
下呂農林事務所	509-2592	下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内	(0576)52-3111(代)	52-1483
飛騨農林事務所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内	(0577)33-1111(代)	36-1246
中央家畜保健衛生所	501-1112	岐阜市柳戸1-1	(058)201-0530	201-0531
中濃家畜保健衛生所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎内	(0574)25-3111(代)	27-3092
東濃家畜保健衛生所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎内	(0573)26-1111(代)	25-7669
飛騨家畜保健衛生所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内	(0577)33-1111(代)	32-9019
岐阜県農業大学校	509-0241	可児市坂戸938	(0574)62-1226	62-1227
岐阜県畜産研究所 (飛騨牛研究部)	506-0101	高山市清見町牧ヶ洞4393-1	(0577)68-2226	68-2227
(酪農研究部)	509-7601	恵那市山岡町久保原1975-615	(0573)56-2769	56-2974
(養豚・養鶏研究部)	501-3924	関市迫間2672-1	(0575)22-3165	22-3164
岐阜県農業技術センター	501-1152	岐阜市又丸729-1	(058)239-3131(代)	239-3139
岐阜県東濃牧場	509-7211	恵那市長島町正家鍋山4-66	(0573)56-2737	56-2146
岐阜県飛騨牧場	509-2701	高山市清見町櫛谷116-4	(0576)69-2188	69-2189
岐阜県地方競馬組合	501-6036	羽島郡笠松町若葉町12 笠松競馬場内	(058)387-3278	387-0974
(一社)岐阜県農畜産公社	500-8384	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	(058)276-4601	276-1268
岐阜大学応用生物科学部	501-1193	岐阜市柳戸1-1	(058)293-2834(代)	293-2840
岐阜県農業協同組合中央会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5611	278-0039
岐阜県信用農業協同組合連合会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5111(代)	278-0135
全国農業協同組合連合会岐阜県本部畜産課	501-3928	関市西田原字大河原441 関家畜流通センター内	(0575)23-6177(代)	24-7554
JA全農くみあい飼料(株)東海支店岐阜駐在	501-3928	関市西田原字大河原441 関家畜流通センター内	(0575)29-7105	29-7106
岐阜県農業共済組合	501-6132	岐阜市次木348-1	(058)270-0081	270-0088

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
岐阜県酪農農業協同組合連合会	501-3756	美濃市生櫛439-2	(0575)46-8803	46-8891
(一社)岐阜県畜産協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1531(代)	278-0068
(公社)全国和牛登録協会岐阜県支部	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県肉用牛協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県養豚協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県養鶏協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
飛騨牛銘柄推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産課内	(0575)23-6177(代)	24-7554
飛騨けんとうん・美濃けんとうん普及推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産課内	(0575)23-6177(代)	24-7554
美濃ヘルシーポーク銘柄推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産課内	(0575)23-6177(代)	24-7554
奥美濃古地鶏普及推進協議会	501-2105	山県市高富227-4 岐阜アグリフーズ(株)内	0581-27-3766	22-1536
岐阜県家畜人工授精師協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9200	278-0068
(公社)岐阜県獣医師会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1595	275-1843
岐阜県牛乳普及協会	501-3756	美濃市生櫛439-2	(0575)46-8803	46-8891
岐阜県牛乳協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1596	274-4223
岐阜県牛乳事業協同組合	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1596	274-4223
(一社)岐阜県農業会議	500-8384	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	(058)268-2527	273-6177
(株)岐阜県畜産公社	500-8266	岐阜市境川5-148	(058)272-2559	274-9666
岐阜県食肉事業協同組合連合会	500-8266	岐阜市境川5-148	(058)273-6011	274-8248
(一社)岐阜県配合飼料価格安定基金協会	500-8384	岐阜市藪田南1-5-1 第2松波ビル内	(058)273-9032	273-0328
岐阜県養蜂組合連合会	501-3152	岐阜市岩滝西1-129	080-4533-1068	242-9938
岐阜県家畜商協同組合	500-8357	岐阜市六条大溝4-4-7	(058)273-9207	271-1471
(公財)みつばちの家	502-0801	岐阜市椿洞776-3	(058)294-2002	242-9938
(一社)岐阜県馬主会	501-6036	羽島郡笠松町若葉町12 笠松競馬場内	(058)388-1213	388-1213
岐阜県園芸特産振興会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	058-276-5337	276-5338
岐阜県飼料用米利用促進協議会	509-0108	各務原市須衛町4-291 岐阜養鶏農協内	(058)370-8323	370-8091
(一社)ぎふクリーン農業研究センター	500-8367	岐阜市宇佐南4-11-5	(058)276-5072	276-5074
岐阜県農業再生協議会	500-8570	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁農産園芸課内	(058)272-1111(代)	278-2692



2024 岐 阜 の 畜 産

令和7年3月発行

編集・発行 岐 阜 県

岐阜市藪田南2-1-1

TEL (058) 272-1111(代)